

# 消防年報

令和7年版

根室市消防本部

# は し が き

- 1 この年報は、令和7年中の根室市の消防に関する諸般の事項を統計的に集録して、消防現勢を明らかにし、今後の消防行政の参考とするために編集したものです。
- 2 この年報は、令和7年12月31日現在の資料を収録したものです。

令和8年2月

根室市消防本部

# 目 次

## 総務関係

根室市消防の歩み	1
位置・面積	1 3
人口・世帯	1 3
消防予算及び決算	1 3
消防力の現勢	1 4
消防相互応援協定等の状況	1 4
組織機構図	1 5
消防職員数	1 6
消防職員配置状況	1 6
消防職員勤続年数	1 7
消防職員年齢	1 7
消防団員数	1 7
消防団員配置状況	1 8
消防団員勤続年数	1 8
消防団員年齢	1 9
庁舎概要	1 9
根室市防災へりポート	1 9
学校研修実施状況	2 0
消防吏員免許等保有状況	2 1
消防機械置場	2 2

## 火災関係

火災等発生状況	2 3
火災種別発生件数	2 4
火災種別割合	2 4
月別火災等発生状況	2 5
原因別火災等発生状況	2 6
時間・曜日・覚知別火災発生状況	2 7

## 予防関係

予防事務処理状況	2 8
危険物関係事務処理状況	2 9
防火団体結成状況	3 0
防火対象物及び中高層建築物状況	3 1
消防訓練・救急講習・予防広報実施状況	3 2
建築物同意事務処理状況	3 3

## 警防関係

有線通信施設配置状況	3 4
無線通信施設配置状況	3 4
衛星携帯電話配置状況	3 4
防災行政用無線	3 4
救助出動件数及び活動件数	3 5
救助事故種別出動人員及び活動人員	3 5
救助器具保有状況	3 6
消防車両現勢	3 7
小型動力ポンプ配置状況	3 8
消防用資機材保有状況	3 8
消火薬剤現有状況	3 8
水利施設	3 9

## 救急関係

救急出動状況	4 0
月別救急出動件数	4 1
事故種別出動内訳	4 1
事故種別・応急処置対象人員	4 2
応急処置内容	4 2
事故種別・傷病程度別搬送人員	4 3
年齢層別・傷病程度別搬送人員	4 3
事故種別・年齢層別搬送人員	4 3
事故種別・曜日別出動件数	4 3
休日・平日・時間別出動件数	4 4
医療機関別搬送人員	4 5
転院搬送状況	4 6
道東ドクターヘリ運航状況	4 6

## 附 表

過去10年間の火災等発生状況 .....	47
過去10年間の原因別火災等発生状況 .....	48
過去10年間の建物用途別火災及び死者発生状況 .....	49
過去の特殊火災記録（市制施行後） .....	50
年別火災等発生状況（市制施行後） .....	53
過去10年間の救助出動件数及び活動件数 .....	55
過去10年間の救急出動状況 .....	56
過去10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移 .....	57

# 総務関係



新築花咲港消防分遣所（令和7年4月移転）

# 根室市消防の歩み

西 暦	年 号	事 項
1875年	明治 8年	町内有志により私設消防隊設立。元締鈴木松吉
1878年	明治11年 3月 5日	警察署長が私設消防隊の指揮を命じられる。
1879年	明治12年 1月 27日	出火、その他非常警戒にかかわる号鐘の打数を定める。
1880年	明治13年 4月 1日	820円40銭の官費をもって消防組を設置
1881年	明治14年 9月 20日	根室市街消防組規則制定 組員60名。組頭に嵯峨啓藏 就任
1882年	明治15年 6月 12日	花咲学校に間借りの根室県仮庁舎、全焼する。
1883年	明治16年 4月 1日	公設消防組に改組 西組、南組の二部制 西部頭取嵯峨 啓藏 南部頭取廣瀬勝次就任
1886年	明治19年12月 30日	花咲町1丁目より出火。150戸焼く。
1891年	明治24年 5月 1日	弥生町1丁目より出火。2、3丁目に延焼し193戸を焼 き、千島樓を除き遊廓全滅する。
1894年	明治27年 3月 22日	勅令消防組規則の公布 西南両部を統合し公設根室消 防組に改組 三番組制で各番小頭1名組員50名により 組織 初代消防組頭嵯峨啓藏就任 午後7時20分大地震発生、住民屋外に二昼夜避難 (被災戸数877戸、建物破損39棟、土蔵破損33棟、石 蔵・煉瓦蔵破損5棟、負傷者4名、4月11日までの震 動回数402回、うち強震10回、弱震109回、微震283 回)
1895年	明治28年10月 3日	午前4時花咲町1丁目明治屋より出火。午前8時鎮火。 弥生町、緑町、清隆町、弥栄町、常盤町、花咲町、梅ヶ 枝町、平内町を焼く。(焼損棟数634棟、889戸)
1897年	明治30年12月 20日	午前5時本町3丁目呉服店より出火。午前10時鎮火。 本町、梅ヶ枝町、花咲町、常盤町、松ヶ枝町、有磯町、 鳴海町、緑町に延焼する。(焼失棟数497棟、663戸、 倉庫3棟、物置4棟)
1910年	明治43年11月 30日	従来、消防組のほか私設夜警番が各所設けられていたが 道庁令に基づき火災予防組合に改める。
1913年	大正 2年	消防組を部制に改める。組頭に嵯峨啓藏、第1部部長に 中村房太郎、第2部部長に杉山佐市、第3部部長に奥村 善藏就任
1920年	大正 9年 7月 10日	根室銀行より蒸気ポンプ寄贈 鳴海町畳店より出火。87戸焼く。
1922年	大正11年 11月 21日	3番組制を4部制に編成 2代目消防組頭川村省三就任 手曳ガソリンポンプ2台購入 弥生町3丁目旅館より出火。108戸焼く。
1923年	大正12年11月 29日	弥生町9丁目遊廓加茂川樓より出火。187戸焼き4人焼 死する。
1924年	大正13年 4月	3代目消防組頭田淵幸次郎就任

西 曆	年 号	事 項
1924年	大正13年 4月	T型フォードノーザン式自動車ポンプを購入し、第1部に配置
	6月30日	午前3時頃本町3丁目根室郵便局より出火。57戸焼く。
	7月 1日	T型フォード自動車に市原式タービンガソリンポンプを積載して第2部に配置し、運転手1名を常備 第1部に小頭1名、消防手5名を常備員として配置 第2部に第1部と同型の自動車ポンプを配置し、常備運転手1名配属
1926年	大正15年12月25日	ダッチブラザー自動車市原式タービンポンプを購入して第3部に配置し、小頭1名消防手5名を常備員として配置
1928年	昭和 3年	ダッチブラザー市原式タービンポンプ自動車を購入して第1部に配置。第1部のT型フォードノーザン式自動車ポンプを第4部に配置替えし、運転手1名を採用各部に自動車ポンプの配置を完了し半常備体制を確立
1931年	昭和 6年 9月19日	緑町2丁目第二朝日館より出火。47棟焼く。
1935年	昭和10年11月25日	花咲郡歯舞村に公設歯舞消防組創設
1936年	昭和11年12月17日	第1部（弥生町）、第2部（緑町）、第3部（朝日町）、第4部（鳴海町）の番屋を廃止 朝日町2丁目9番地に消防庁舎を新築（木造モルタル2階建170坪、鉄骨望楼高さ15m）し、集合体制を採用
1937年	昭和12年 4月 1日	4代目消防組頭小林惣吉就任
1938年	昭和13年 3月10日	根室郡和田村に公設和田村消防組創設
	4月 1日	組織の一部を改編し、常備消防本部創設 常備消防本部長に石月石五郎就任
1939年	昭和14年 3月	碓氷勝三郎氏より1938年式V8フォードコンマシヤルシャシーに大阪森田ポンプを架装の自動車ポンプ寄贈 碓氷号と命名
	4月 1日	勅令警防団令施行。警防団を編成。初代警防團長碓氷勝三郎就任。警防団長の下に団本部事務を扱う常備消防本部、東部管轄の第1分団、西部及び花咲地区管轄の第2分団を配置 勅令により和田消防組を和田警防団に改称。（定員135名）初代警防団長に能戸直太郎就任
	4月16日	勅令により歯舞村警防団結成（定員241名）大高伝之助警防団長就任
	10月20日	38年式フォード消防ポンプ車購入
	11月16日	千島町2丁目民家より出火。78戸焼失、焼死者2名
1943年	昭和18年 4月 1日	2代目警防團長に兼古萬吉就任
1944年	昭和19年 6月30日	3代目警防團長に川端元治就任
	7月 1日	大東亜戦争の鮮烈化のため道庁長官指令に基づき芽室、

西 曆	年 号	事 項
1944年	昭和19年 8月 1日	池田、常呂各町より自動車ポンプ各1台を応援配置 常備消防本部を常備消防分団に改称し、分団長南野三郎 就任。水上分団を配置し分団長高坂勝三就任
1945年	昭和20年 7月15日	米軍機の空襲により消防庁舎焼失し、本部を千島町に 移転。常備消防団員3名、第2分団団員2名殉職
1947年	昭和22年 4月30日	勅令警防團令廃止。消防團令（勅令185号）が公布施行
	5月 1日	齒舞村警防団を齒舞村消防団に改編し、3分団制を施行 （消防団定員125名）
	8月25日	消防団設置条例施行。警防団を消防団に定員136名3分 団制で改組。初代消防團長濱元嘉一就任。常備本部長 横山重則就任
	9月 1日	和田村警防団を和田村消防団に改編し、3分団制を施行 （消防団定員150名）団長に上野正二就任。
1948年	昭和23年 3月 7日	消防組織法施行
	4月 1日	空襲により焼失した本部跡に有志の寄付金により庁舎 を復旧（木造トタン葺一部2階建延90坪）
1949年	昭和24年 8月27日	2代目消防團長に竹原長次郎就任
1950年	昭和25年 4月 1日	消防組織法に基づき常備消防本部を改組して消防本部 を設置。非常勤初代消防長に2代目消防團長竹原長次郎 が兼ねて就任。総務、予防、警防3係制 定員22名 自動車ポンプ2台 根室町消防団、団本部、第1分団、第2分団、第3分団 定員105名 自動車ポンプ3台
1951年	昭和26年 5月 1日	花咲港に分遣所設置 消防士1名派遣
	6月 8日	非常勤2代目消防長高本正一就任
	7月 5日	花咲港消防分遣所の車庫を花咲港68番地に仮設 分団常置の三輪ポンプ車を配置。夏季に消防ポンプ車 を配置し、職員1名を出向
1952年	昭和27年 6月 3日	3,000ℓ水槽付大阪森田式タービンポンプ自動車を町 民の寄附により購入
	11月 7日	花咲港100番地に旧女学校宿舎を移設改修し、花咲港 消防分遣所を移転開設。消防ポンプ車を配置し、職員 1名配属（夏季は職員1名増員）
	11月 8日	3代目消防團長嶋津豊就任
1954年	昭和29年 1月 1日	消防本部に消防署併置。初代消防署長に横山重則消防 本部長就任
	5月10日	大暴風雨根室地方を襲う船舶乗組員191名遭難死亡、 被害総額7億円
1955年	昭和30年10月10日	集中豪雨のため浸水400戸、災害救助法発動
1956年	昭和31年10月15日	大雨による水害で1,719名が罹災
1957年	昭和32年 8月 1日	和田村と合併し市制施行 根室町消防本部、消防署を

西 曆	年 号	事 項
1957年	昭和32年 9月 6日	根室市消防本部、消防署に改称（職員定数26名） 根室市消防団を定員225名6分団に編成
	11月 1日	消防ポンプ自動車（前進号）を購入
1958年	昭和33年 6月 1日	消防ポンプ自動車（指揮車）を購入 厚床に分遣所設置。署員1名を常置し自動車ポンプを 地区分団に配置
1959年	昭和34年 4月 1日	歯舞村と合併し、根室市消防団を定員350名9分団に 編成。上水道工事が完了し消火栓105基設置
	7月 1日	4代目消防團長柿内亮就任
	10月28日	消防ポンプ自動車（飛躍号）を購入
1960年	昭和35年 5月24日	チリ沖地震の津波で道東、大被害（死者11名、行方不 明41名、漁船沈没296隻）
	10月30日	歯舞に分遣所設置。署員1名を常置し消防ポンプ自動 車を地区分団に配置
	11月19日	消防ポンプ自動車（納沙布号）を購入し、歯舞消防分遣 所に配置
1961年	昭和36年12月25日	消防ポンプ自動車（花咲号）を購入し、花咲港消防分遣 所に配置
1962年	昭和37年 1月20日	荒俣正一氏より消防ポンプ自動車寄贈。荒俣号と命名 し第2分団に配置
	2月11日	日本消防協会より優良消防団として表彰旗授与
	7月16日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車寄贈
	12月15日	消防本部庁舎新築（鉄筋コンクリート3階建延613.3 7㎡ 望楼高さ22.4m）
1964年	昭和39年 4月 1日	根室市危険物安全協会発足
	9月25日	消防ポンプ自動車（はやて号）を購入
1965年	昭和40年 8月 8日	消防無線（中短波無線機）新設（基地局1基、移動局 2基）
1966年	昭和41年 3月25日	根室漁業協同組合鮭鱒部会より水槽付消防ポンプ自動 車寄贈。鮭鱒号と命名（水槽2,500ℓ）
1967年	昭和42年11月20日	厚床消防分遣所を厚床1丁目38番地に移転新築 （木造モルタル2階建 延148.73㎡）
1968年	昭和43年	大正町1丁目30番地に釧路財務事務所（現消防庁舎） が建築される。
	4月29日	第9分団副分団長 高橋健治郎「勲7等瑞宝章」受章
	9月 1日	救急業務開始（職員定数41名）
	9月 6日	救急車（日産セドリックワゴン）を購入
	11月 7日	水槽付消防ポンプ自動車（歯舞号 水槽2,500ℓ）を 購入
	11月20日	花咲港消防分遣所を花咲港366番地に移転新築 （木造モルタル2階建 延168.56㎡）

西 曆	年 号	事 項
1968年	昭和43年12月27日	15m級屈折はしご付消防ポンプ自動車(根室市信金号)を購入(500万円根室信用金庫寄附)
1969年	昭和44年10月15日	5代目消防團長山田文吉就任
	11月3日	消防團長 山田文吉「勲6等旭日章」受章
1970年	昭和45年4月1日	6代目消防團長高本正一就任(兼務)
	11月1日	齒舞消防分遣所を齒舞4丁目40番地1に新築(木造モルタル2階建 延214.83㎡)
1971年	昭和46年8月16日	落石消防團員詰所を落石260番地2に新築(落石西町内会館舎 木造モルタル平屋建 延174.96㎡)
	10月1日	第2代消防署長に吉田理喜三消防署次長就任
	11月25日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車寄贈 損保号と命名(水槽1,600ℓ)
1972年	昭和47年11月3日	元消防司令 高崎辰雄「勲6等単光旭日章」受章 消防司令補 二瓶 傳「勲6等瑞宝章」受章
1973年	昭和48年6月1日	釧路トヨタ自動車販売(株)より救急車寄贈
	6月17日	根室半島沖地震発生(震度5 マグニチュード7.4 被害総額18億円)
1974年	昭和49年1月2日	故消防司令 辻 利一「従7位 勲6等瑞宝章」受章
	3月20日	消防無線(超短波無線機)増設
	4月20日	永宝冷蔵(株)より消防指揮車寄贈。永宝号と命名
	9月20日	落石漁業協同組合より水槽付消防ポンプ自動車寄贈 落石号と命名し落石消防團員詰所に配置(水槽1,500ℓ)
	11月3日	第9分團部長 田口定雄「勲7等旭日章」受章
1975年	昭和50年6月1日	消防本部の組織を総務、警防の二課制に改める。(職員定数53名)
	9月1日	3代目消防長に吉田理喜三消防本部次長就任(消防署長事務取扱)
1976年	昭和51年10月24日	水槽付消防ポンプ自動車I-A型(厚床号 水槽1,500ℓ)を購入し、厚床消防分遣所に配置
1977年	昭和52年8月31日	新星商事(株)より救急車2B型寄贈。新星号と命名
	11月15日	水槽付消防ポンプ自動車I-A型(齒舞号 水槽1,500ℓ)を購入し、齒舞消防分遣所に配置
1978年	昭和53年12月25日	日本損害保険協会より救急車2B型寄贈。あさひ号と命名
1979年	昭和54年8月24日	消防ポンプ自動車CD-II型(根室号)を購入し、第1分団に配置
	11月3日	元消防署長 横山重則「勲5等双光旭日章」受章
1980年	昭和55年4月1日	第3代消防署長に曾又啓次消防本部次長兼務就任
	9月9日	消防ポンプ自動車CD-II型(ときわ号)を購入し、第2分団に配置

西 暦	年 号	事 項
1980年	昭和55年12月1日	第4代消防長に曾又啓次消防本部次長就任（消防署長事務取扱）
1981年	昭和56年4月1日	第5代消防長に白土 晃消防本部次長就任（消防署長事務取扱）
	5月31日	24時間の望楼監視勤務廃止
	8月12日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型（花咲号 水槽1,500ℓ）を購入し、花咲港消防分遣所に配置
1982年	昭和57年8月1日	根室市幼少年婦人防火委員会発足
1983年	昭和58年4月29日	副団長 山崎 茂「勲6等単光旭日章」受章
	5月26日	広報車を購入
	6月27日	厚床消防分遣所増築（木造防火サイディング17.45㎡）
	8月23日	消防ポンプ自動車CD-II型（ほくと号）を購入
1984年	昭和59年11月3日	元第8分団長 大島重男「勲6等瑞宝章」受章
	昭和59年4月1日	第6代消防長に阿部和正市福祉事務所長就任 第5代消防署長に西田宏吉消防本部総務課長就任 消防団定員335名に改正 根室市婦人防火クラブ連絡協議会発足
	8月4日	根室市危険物安全協会より防火査察車の寄贈
1985年	昭和60年3月29日	カネヒロ広田商店(株)より消防指令車寄贈。カネヒロ号と命名
	10月4日	故消防司令 高崎辰雄「叙位 従7位」受章
	10月22日	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-A型寄贈。火災保険号と命名（水槽1,700ℓ）
1986年	昭和61年4月1日	消防団長定年制施行 第7代消防団長に成田慶治就任
	7月1日	消防署の組織を副署長2名制に改める。 （職員定数54名）
	11月3日	元第7分団長 久保田義美「勲6等瑞宝章」受章 元消防長 曾又啓次「勲6等単光旭日章」受章
1987年	昭和62年4月1日	第7代消防長に濱本俊朗市建設部長就任 第8代消防団長に岡田政司就任 消防団副団長以下定年制施行
	9月17日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（北翔号 水槽2,000ℓ）を購入
	10月26日	消防庁舎増築（木造サイディング102.06㎡）
1988年	昭和63年2月1日	日本自動車工業会より救急車2B型寄贈
	9月26日	救急車2B型（4WD 国際ソロプチミスト根室号）を購入（200万円国際ソロプチミスト根室寄附）
	11月3日	元副団長 矢部博之「勲6等瑞宝章」受章
1989年	12月16日	消防庁舎車庫増築（鉄骨造一部2階建404.74㎡）
	平成元年4月1日	消防本部、消防署の機構改革実施

西 曆	年 号	事 項
1989年	平成 元年 4月29日	元消防団長 成田慶治「勲5等瑞宝章」受章
	11月14日	20m級屈折はしご付(3節)消防ポンプ自動車を購入
	11月22日	救助訓練塔建設(鉄骨造 高さ12m)
	12月13日	根室市危険物安全協会より防火査察車寄贈。防火パトカーと命名
1990年	平成 2年 4月 1日	第8代消防長に嶋 忠雄市立根室病院事務長就任 第9代消防団長に赤川三郎就任
	4月29日	元消防団長 高本正一「勲5等双光旭日章」受章
	11月 3日	元副団長 岡本達雄「勲6等单光旭日章」受章
1991年	平成 3年 1月19日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(飛龍号 水槽7,000ℓ)を購入
	9月 9日	広報車(4WD)を購入
	10月30日	全国消防長会第36回救急委員会を根室グランドホテルで開催
	12月18日	救助工作車Ⅱ型を購入
	26日	消防緊急通信指令施設を設置
1992年	平成 4年11月 3日	元第8分団長 奥地貫一「勲6等瑞宝章」受章
1993年	平成 5年 1月15日	釧路沖地震発生(震度4 マグニチュード7.8 住宅等一部損壊等の被害)
	11月10日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入
1994年	平成 6年 4月 1日	第9代消防長に西田宏吉消防本部次長就任(職員定数62名) 第10代消防団長に田仲照夫就任 第6代消防署長に白崎紘司警防課長就任
	7月23日	根室市危険物安全協会より防火査察車寄贈。防火パトカー2と命名
	10月 4日	北海道東方沖地震発生(震度5 マグニチュード8.1 被害総額178億円)
	4月29日	元消防団長 岡田政司「勲5等瑞宝章」受章
1995年	10月17日	花咲港消防分遣所を花咲港366番地5に新築(木造防火サイディング2階建 延217.62㎡)
	4月29日	元消防団長 赤川三郎「勲6等单光旭日章」受章
1996年	平成 8年 3月14日	高規格救急自動車(4WD 電子制御式4速オートマチック)購入(根室ロータリークラブ、根室西ロータリークラブより各500万円寄附)
	3月15日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(花咲号 水槽6,500ℓ)を購入し、花咲港消防分遣所に配置
	4月29日	元消防団長 赤川三郎「勲6等单光旭日章」受章
	8月 1日	女性消防団員を導入。団本部付10名採用
	12月26日	根室市防災ヘリポート開港。市企画振興部から所管替え
1997年	平成 9年 4月 1日	第10代消防長に菅原秀敏市保健福祉部長就任(職員定数71名)

西 曆	年 号	事 項
1997年	平成 9年 4月 1日 6月 6日	第11代消防団長に菅野信男就任 第49回北海道消防大会を根室市総合文化会館で開催
1998年	平成10年 4月29日 5月28日	元副団長 大山 清「勲6等単光旭日章」受章 全国消防長会第42回危険物委員会を根室グランドホテル開催
1998年	7月 1日 平成10年11月20日 30日	消防署の組織を改める（救急隊専任化 専任隊員9名） 救急救命士による救急業務運用開始（救急救命士2名） 厚床消防分遣所を厚床1丁目37、38番地に新築 （木造防火サイディング2階建 延278.36㎡）
1999年	平成11年 4月29日 12月24日	元副団長 矢部健三「勲6等単光旭日章」受章 消火、通報訓練指導車「けすゾウくん」市総務部から所管替え
2000年	平成12年 4月 1日 4月26日 5月27日	第11代消防長に近松正吾市立根室病院事務長就任 （職員定数71名） 消防本部、消防署の組織機構を改める。 有珠山噴火に伴い北海道広域消防相互応援協定による隊を伊達市に派遣 （車両2台・職員5名） 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（厚床号 水槽6,500ℓ）購入し、厚床消防分遣所に配置
2001年	11月 3日 平成13年 3月26日 4月 1日	元副団長 飯澤種彦「勲6等単光旭日章」受章 歯舞消防分遣所を歯舞4丁目40番地に新築 （木造防火サイディング2階建 延288.18㎡） 第12代消防長に白崎紘司消防本部次長就任（職員定数第7代消防署長に柿崎直嗣消防本部総務課長就任
2002年	平成14年 2月21日	元第8分団長 藤島昭一「勲6等瑞宝章」受章 財団法人 日本消防協会より司令車（4WD）寄贈
2003年	平成15年 4月29日	元副団長 中村 茂「勲6等単光旭日章」受章
2004年	平成16年 4月 1日 4月29日 6月24日	第13代消防長に柿崎直嗣消防本部次長就任（職員定数第12代消防団長に高橋貞男就任 第8代消防署長に武田静夫副署長就任 元消防団長 菅野信男「瑞宝双光章」受章 根室市危険物安全協会より防火査察車寄贈。防火パトカと命名
2005年	平成17年 4月 1日 11月 9日	第14代消防長に竹原賢一郎市教育委員会教育部長就任 （職員定数72名） 元副団長 宮下 繁「瑞宝単光章」受章
2006年	平成18年 4月 1日 12月27日	第15代消防長に武田静夫消防本部次長就任（職員定数第9代消防署長に加藤義則消防本部警防課長就任 日本損害保険協会より高規格救急自動車（4WD）寄贈 品購入費の一部、消防設備整備基金より）

西 暦	年 号	事 項
2007年	平成19年 4月 1日	職員定数条例改正（職員定数 70名）
	8月 1日	元第8副分団長 長山誠一「瑞宝単光章」受章
	10月 3日	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車（4WD）寄贈（備品購入費の一部、消防設備整備基金より）
	11月 3日 12月27日	元副団長 倉又 博「瑞宝単光章」受章 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（歯舞号 4WD 水槽 3,000ℓクラスA自動泡混合装置付）を購入し、歯舞消防分遣所に配置（備品購入費の一部、消防設備整備基金より）
2008年	平成20年 4月 1日	第16代消防長に加藤義則消防本部次長就任（職員定数 70名） 第10代消防署長に織田勝洋消防本部総務課長就任
	5月 1日	予防技術資格者に認定証を交付
	9月18日	落石消防団員詰所を落石東 391 番地 1 に移転新築（木造防火サイディング平屋建 延 77.84 m <sup>2</sup> ）
	9月24日	消防ポンプ自動車CD-I型（落石号 4WD 水槽 600ℓハイルーフCAFS仕様）を購入し、落石消防団員詰所に配置
2009年	平成21年 4月 1日	消防本部、消防署にスタッフ制（グループ制）の導入 署の組織を副署長1名、2課制に改める。 救急専任隊員 10名とする。
	4月29日	元副団長 中村美喜男「瑞宝単光章」受章
	5月22日	高性能型油圧救助器具を購入
	9月29日	消防ポンプ自動車CD-I型 2台（根室C-1、根室C-2 4WD水槽 600ℓハイルーフCAFS仕様）を購入
	10月 5日	道東ドクターヘリ運航開始（事業実施主体・基地病院 市立釧路総合病院）
2010年	平成22年 8月20日	根室市消防団、北海道消防協会長より竿頭綬を受章
	10月18日	広報車（4WD）を購入
2011年	平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生。マグニチュード9.0の巨大地震により、根室市に大津波警報が発令される。
	3月24日	東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊を宮城県石巻市に派遣（2隊7名）
	10月10日	新消防庁舎運用開始 大正町1丁目 30 番地の旧市役所第2庁舎を改築し、鉄骨造2階建車庫（823.26 m <sup>2</sup> ）を増設（延べ 1,518.61 m <sup>2</sup> ） 消防緊急通信指令設備、地図検索システムを導入及び仮眠室の個室化を図る。

西 暦	年 号	事 項
2011年	平成23年12月26日	根室ロータリークラブ、根室西ロータリークラブより 消防広報車寄贈。広報車2と命名
2012年	平成24年 4月 1日	第17代消防長に織田勝洋消防本部次長就任（職員定数 70名） 第13代消防団長に坂江國雄就任 第11代消防署長に宗像 淳消防本部総務課長就任
	8月 1日	元第7分団長 鈴木政雄「瑞宝単光章」受章
	9月 7日	北海道消防協会より優良消防団として表彰旗授与
	11月 3日	元副団長 三戸光雄「瑞宝単光章」受章
	12月 1日	元第3副分団長 重平 護「瑞宝単光章」受章
2013年	平成25年 4月 1日	消防救急デジタル無線運用開始
	4月29日	元消防団長 高橋貞男「瑞宝双光章」受章
	6月 1日	消防団活動安全化事業として、各分団に救命胴衣及び 携帯型デジタル簡易無線機を配備
	10月 1日	元副団長 山下宏信「瑞宝双光章」受章 元第1分団長 大橋一男「瑞宝単光章」受章
2014年	平成26年 4月 1日	第18代消防長に宗像 淳消防本部次長就任（職員定数 70名） 第12代消防署長に鈴木敏一消防本部総務課長就任
	6月24日	根室市危険物安全協会より防火防災指導車寄贈。防火 号と命名
	11月 3日	元副団長 酒井忠男「瑞宝単光章」受章
	12月26日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（根室水槽1 4WDステンレス製水槽2,000ℓ CAFS仕様）を 購入
2015年	平成27年 4月29日	元第8分団長 影沼澤 潔「瑞宝単光章」受章
	7月 1日	消防署の組織活性化及び体制強化 主幹職（3名）配置 救急専任隊員12名とする。
2016年	11月17日	北海道知事より優良消防団として竿頭授受章
	平成28年 1月29日	高規格救急自動車（4WD）を購入
2018年	11月 2日	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（根室水槽3 4WDステ ンレス製水槽2,000ℓ CAFS仕様）を購入
	平成30年 4月 1日	第19代消防長に大島裕司市建設水道部長就任（職員定 数70名） 第14代消防団長に櫻田一二三就任
	9月25日	広報車2（4WD）を購入
	11月 3日	元消防団長 坂江國雄「瑞宝単光章」受章
	11月29日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（根室水槽4 4WDステンレス製水槽6,000ℓ CAFS仕様）を 購入

西 暦	年 号	事 項
2019年	平成31年 3月22日	消防庁舎女性棟増築 (鉄筋コンクリート造平屋建 67.41 m <sup>2</sup> 延べ1,586.02 m <sup>2</sup> )
	4月 1日	第20代消防長に鈴木敏一消防本部次長就任 (職員定数70名) 第13代消防署長に吾妻秀一消防署消防課長就任
	令和 元年 7月 1日	予防技術認定資格者に予防技術資格者証を交付
	9月25日	消防団設備整備事業として、各分団に消防団救助用資機材 (油圧切断機、エンジンカッター、チェーンソー、ジャッキ) を配備
	9月26日	水槽付消防ポンプ自動車II型 (根室水槽2 4WDステンレス製水槽 6,500ℓ) を購入
	11月 3日	元副団長 金濱 憲「瑞宝単光章」受章
	12月20日	救助隊員に救助隊員章の貸与
	2020年 令和 2年 1月 1日	災害現場情報共有システム運用開始
	4月 1日	職員定数条例改正 (職員定数71名) 指揮隊運用開始
	7月15日	もりかど式消火戦術運用開始
2021年	令和 3年 1月25日	元第4分団長 倉谷 武「瑞宝単光章」受章 高規格救急自動車 (4WD) を購入
	10月 7日	落石消防団員詰所改修
2022年	令和 4年 1月31日	支援車IV型 (指揮車) を購入
	3月10日	救助工作車II型 (後輪駆動) を購入
	3月24日	消防緊急通信指令設備の更新に伴い位置情報表示システムを導入
	8月 1日	水難救助 (水面上における救助活動) 運用開始
	8月23日	根室海上保安部と根室市消防本部との水難救助及び災害対応訓練に係る協力に関する覚書を締結
2023年	12月 2日	高規格救急自動車 (4WD) を購入
	令和 5年 4月 1日	第21代消防長に小松幸浩消防本部総務課長就任 (職員定数71名)
2024年	11月 3日	元副団長 大塚 照靖「瑞宝単光章」受章
	令和 6年 2月 1日	元第3分団長 村 良治「瑞宝単光章」受章
2025年	11月18日	根室市消防資機材倉庫新築 (鉄骨造平屋建 45 m <sup>2</sup> )
	令和 7年 2月28日	資機材搬送車 (4WD) を購入
	4月 1日	組織機構を改編し、消防本部次長及び署長の兼務体制を解消 消防本部次長に佐々木義人消防本部警防課長就任 消防署長に鈴木勇二消防本部総務課長就任
	4月 7日	花咲港消防分遣所を花咲港209番地3に移転新築 (鉄筋コンクリート造2階建 延294.2 m <sup>2</sup> )
	4月29日	元第3分団長 中村 正勝「瑞宝単光章」受章

西 曆	年 号	事 項
2025年	令和7年 11月 3日 11月 4日 12月 4日 12月17日	元第4分団長 矢部 克之「瑞宝単光章」受章 全消会道支部道東地区協議会広域応援訓練 (部隊運用訓練等を根室市で開催) 消防用活動資機材としてドローンを購入 根室市防災ヘリポート全面改修(代替地 航空自衛隊根 室分屯基地)

## 位置・面積

位 置		広 ぼ う		面 積
東 経	北 緯	東 西	南 北	
東に146度26分26秒	南に43度9分30秒	100.84km	54.87km	502.65km <sup>2</sup>
西に145度11分44秒	北に43度39分8秒			

※ 面積は、齒舞群島の面積(94.84km<sup>2</sup>)を含む。

## 人口・世帯

調査年月日	区 分	人 口	世 帯 数
令和7年12月31日	男	10,408 人	11,993 世帯
	女	11,510 人	
	合計	21,918 人	

## 消防予算及び決算

項 目		年度別	令和6年度	令和7年度
一 般 会 計 (千円)			25,200,000 (46,111,985)	25,840,000
消 防 費 (千円)			1,027,348 (1,007,191)	877,838
内 訳 (千円)	常 備 消 防 費		99,505 (95,676)	74,535
	非 常 備 消 防 費		39,996 (37,366)	43,355
	消 防 施 設 費		343,583 (320,208)	198,668
	関 係 職 員 費		544,264 (553,941)	561,280
一般会計に対する消防費の割合(%)			4.1 (2.2)	3.4
市民1人当たりの消防費 (円)			45,725 (44,828)	40,051
一世帯当たりの消防費 (円)			85,088 (83,418)	73,196

※ ( ) 決算

# 消防力の現勢

## 1 消防本部・署

( )前年数

区 分		算 定 数	整 備 数	比 率 ( % )
施 設	署 所	2	2 (2)	100.0 (100.0)
	消防ポンプ自動車	3	3 (3)	100.0 (100.0)
	屈折はしご自動車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
	化 学 消 防 車	2	2 (2)	100.0 (100.0)
	救 急 自 動 車	2	2 (2)	100.0 (100.0)
	救 助 工 作 車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
	指 揮 車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
	特 殊 車 等	—	4 (3)	—
	非常用消防自動車	—	—	—
	非常用救急自動車	1	1 (1)	100.0 (100.0)
	人 員	91 (98)	69 (69)	75.8 (70.4)

## 2 消防団

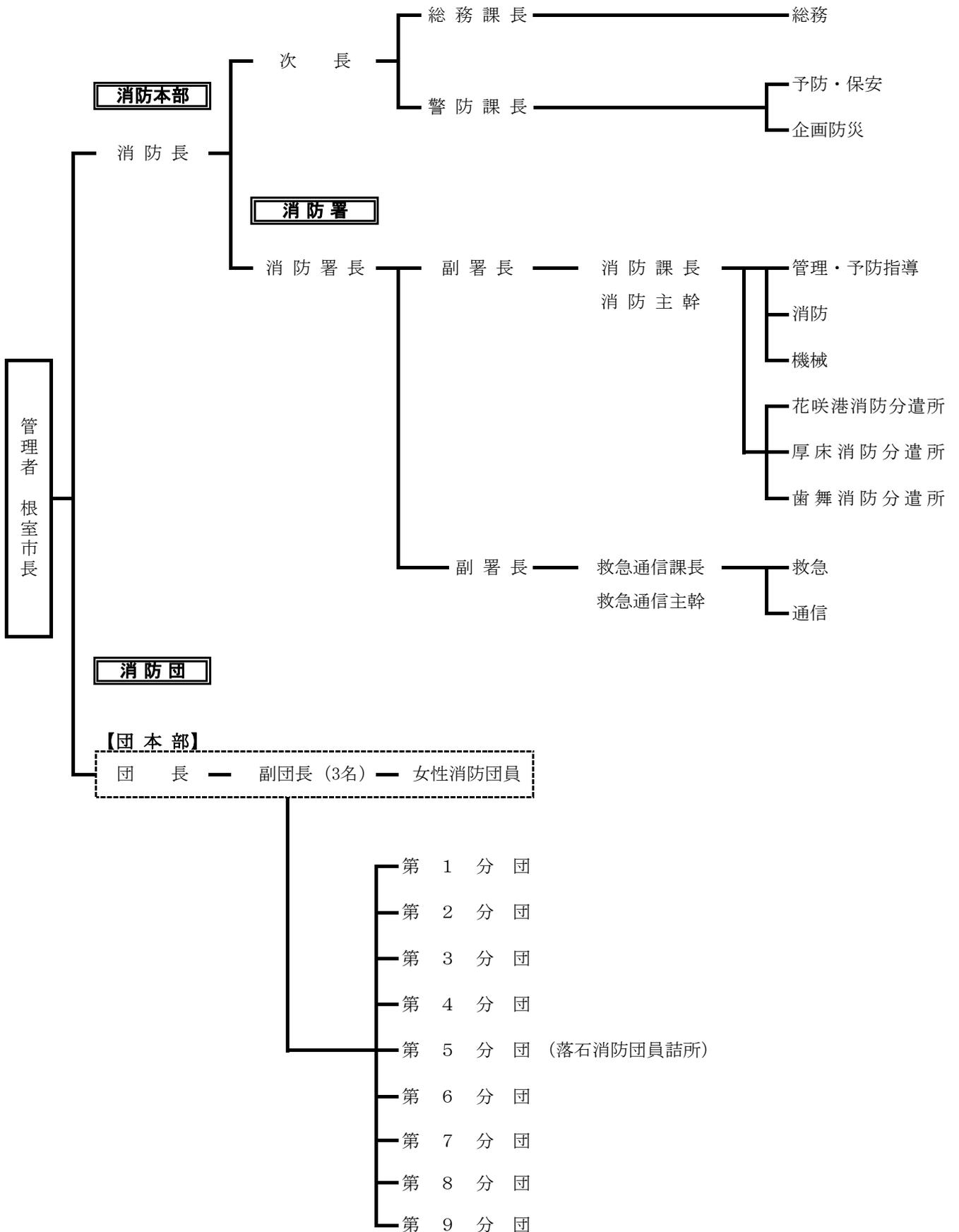
( )前年数

区 分		算 定 数	整 備 数	比 率 ( % )
施 設	消防ポンプ自動車	6	6 (6)	100.0 (100.0)
	小型動力ポンプ	16	16 (16)	100.0 (100.0)
人 員	消 防 団 員	335	312 (315)	93.1 (94.0)

# 消防相互応援協定等の状況

協 定 の 概 要	締 結 先	締 結 年 月 日
船舶消火に関する業務協定	根 室 海 上 保 安 部	昭和44年2月1日
北海道消防防災ヘリコプター応援協定	北 海 道 知 事	平成8年6月25日
北海道広域消防相互応援協定	北海道内の市、町及び消防の一部事務組合	令和2年3月23日

# 組織機構図



## 消防職員数

区分	階級別	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計
	定数		1	9	17	23	21	
実員		1	9	17	23	2	17	69

## 消防職員配置状況

配置別		階級別		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	合計		
消防本部	消防	消防長		1							1	
		次長			1						1	
	総務課	課長		(1)							(1)	
		総務主査				2					2	
		総務担当					2				2	
	警防課	課長			1						1	
		予防主査				2					2	
		企画防災主査				2					2	
		予防・保安担当						4			4	
		企画防災担当								1	1	
	小計			1	(1)	2	6	6		1	(1)	16
	消防署	消防	署長			1						1
副署長					2						2	
消防課		課長			1						1	
		消防主幹			1						1	
		管理主査					2				2	
		消防主査					2				2	
		機械主査					2				2	
		管理・予防指導 消防・機械担当						11	2	10	23	
救急通信課		課長			1						1	
		救急通信主幹			1						1	
		救急通信主査					1				1	
		救急主査					2				2	
	通信主査					2				2		
	救急担当						4		6	10		
	通信担当						2			2		
小計				7	11	17	2	16			53	
合計			1	(1)	9	17	23	2	17	(1)	69	

※ ( ) 兼務

## 消防職員勤続年数

(平均20.6年)

年 数 \ 階 級 別	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
1年未満						3	3
1～5						6	6
6～10				3		5	8
11～15				7	1	3	11
16～20				6			6
21～25			4	2			6
26～30		2	7	2			11
31年以上	1	7	6	3	1		18
合 計	1	9	17	23	2	17	69

## 消防職員年齢

(平均41.0歳)

年 齢 \ 階 級 別	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
18～20						4	4
21～25						3	3
26～30				3		9	12
31～35				4	1	1	6
36～40				8			8
41～45			3	3			6
46～50		1	8	1			10
51～55		5	3	2			10
56歳以上	1	3	3	2	1		10
合 計	1	9	17	23	2	17	69

## 消防団員数

区 分 \ 階 級 別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定 員	1	3	9	9	11	38	264	335
実 員	1	3	9	9	11	38	241	312

## 消防団員配置状況

階級別 区 分		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
		団 本 部	1	3			1	2	3
市 街 地	第1分団			1	1	1	4	22	29
	第2分団			1	1	1	4	17	24
	第3分団			1	1	1	4	22	29
和 田 地 区	第4分団			1	1	1	4	27	34
	第5分団			1	1	1	4	27	34
	第6分団			1	1	2	4	31	39
歯 舞 地 区	第7分団			1	1	1	4	29	36
	第8分団			1	1	1	4	32	39
	第9分団			1	1	1	4	31	38
合 計		1	3	9	9	11	38	241	312

## 消防団員勤続年数

(平均15.6年)

階級別 年 数		団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
		1年未満							17
1～5							1	37	38
6～10							4	69	73
11～15						2	8	39	49
16～20						5	10	26	41
21～25			1	4			5	24	34
26～30			1	2		2	3	15	23
31年以上	1	2	6	5	2	7	14	37	
合 計		1	3	9	9	11	38	241	312

# 消防団員年齢

(平均 46.3 歳)

階級別 年 齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18～20							1	1
21～25							5	5
26～30						1	11	12
31～35						1	27	28
36～40						3	44	47
41～45			1		1	7	49	58
46～50				1	1	8	37	47
51～55			3	1	2	6	30	42
56～60			2	6	5	9	26	48
61 歳以上	1	3	3	1	2	3	11	24
合 計	1	3	9	9	11	38	241	312

## 庁舎概要

名 称	所 在 地	構 造	建面積 (㎡) 延面積 (㎡)	建 築 年 月 日
消防本部・消防署	大正町 1-30	管理棟 (鉄筋コンクリート造 2 階建)	695.35	平成 23 年 9 月 30 日
		女性棟 (鉄筋コンクリート造平屋建)	67.41	平成 31 年 3 月 22 日
		車庫棟 (鉄骨造一部 2 階建)	823.26	平成 23 年 9 月 30 日
		延面積	1,586.02	
		資機材倉庫 (鉄骨造平屋建)	45.00	令和 6 年 11 月 18 日
花咲港消防分遣所	花咲港 209-3	鉄筋コンクリート造 2 階建	195.20 294.20	令和 7 年 3 月 27 日
厚床消防分遣所	厚床 1-37、38	木造防火サイディング 2 階建	208.38 278.36	平成 10 年 11 月 30 日
齒舞消防分遣所	齒舞 4-40	木造防火サイディング 2 階建	217.38 288.18	平成 13 年 3 月 26 日
落石消防団員詰所	落石東 391-1	木造防火サイディング 平屋建	77.84 77.84	平成 20 年 9 月 18 日

## 根室市防災ヘリポート

位 置	飛行場の種類	滑走路の強度 (t)	面 積 (㎡)
東和田 49-4	陸上ヘリポート (飛行場外離着陸場)	最大離着陸重量 9	2,240

# 学校研修実施状況

学校区分	教育区分	課程名	受講人員	階級別							
				司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士		
消防学校	消防	初任教育	初任教育課程	68	1	9	17	23	2	16	
		専科教育	警防科	8			6	2			
			救助科	19		3	8	7		1	
			救急科 (標準及びⅡ課程含む)	42		5	9	17	2	9	
			救急Ⅰ課程	4	1	1	2				
			火災調査科	6	1	1	2	2			
			予防査察科	5		1	1	3			
			危険物科	7	1	1	2	3			
		特別教育	ポンプ操法指導員課程	2		1	1				
			大規模災害捜索救助課程	1				1			
		幹部教育	幹部科	4		1	2	1			
		消防大学校	総合教育	幹部科	7	1	5		1		
			実務講習	査察業務マネジメントコース	1		1				
		各養成機関	各養成機関	救急救命士養成研修	12		2	5	5		
				指導救命士養成研修	1			1			
指導救命士実習	1					1					
気管挿管病院実習	17				3	6	7		1		
ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管病院実習	17				3	6	7		1		

学校区分	教育区分	課程名	受講人員	階級別							
				団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
消防団員	消防学校	幹部教育	初級幹部課程	4	1		1	1	1		
	(財)日本消防協会	特別研修	幹部特別研修	1	1						
	(財)日本消防協会		幹部候補中央特別研修	2					1	1	
	(財)北海道消防協会		指導員研修	3			2		1		

# 消防吏員免許等保有状況

区 分		階 級 別		司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	合 計
自動車運転 免 許	大 型 免 許 (第 一 種)				6	14	20	2	3	45
	普 通 免 許	1			3	3	3		14	24
二 級 自 動 車 整 備 士							1			1
自 動 車 整 備 管 理 者					6	5	3			14
衛 生 管 理 者		第 一 種			2	2	1			5
		第 二 種			2	1				3
小 型 移 動 式 クレーン 運 転 技 能 講 習					3	13	16	2	1	35
玉 掛 技 能 講 習		1			5	14	13	1	3	37
酸 素 欠 乏 ・ 硫 化 水 素 危 険 作 業 主 任 者					2	6	2			10
小 型 車 両 系 建 設 機 械 ( 整 地 )					5	15	23	2	8	53
フ ル ハーネ ス 型 墜 落 制 止 用 器 具						16	22	2	12	52
テ ー ル ゲ ー ト リ フ タ ー					5	16	22	2	14	59
二 等 無 人 航 空 機 操 縦 士						4	2			6
無 人 航 空 従 事 者 試 験 3 級						7	5		1	13
防 災 士		1			2	1			1	5
主 任 無 線 従 事 者 講 習					2					2
陸 上 特 殊 無 線 技 士		第 二 級	1							1
		第 三 級			6	8	13	1	9	37
予 防 技 術 資 格 者		査 察	1		4	4	7			16
		設 備	1		4	2	2			9
		危 険 物	1		4	3	2			10
消 防 設 備 士		甲 種					3			3
		乙 種	1		1	1	4			7
危 険 物 取 扱 者		乙 種	1		6	6	4			17
		丙 種			1			1		2
救 急 救 命 士					3	6	7		3	19
救 急		標 準 課 程			3	9	16	1	9	38
		I 課 程	1		1	2				4
		II 課 程			2			1	1	

## 消防機械置場

番号	名称及び所在地	所属分団	構造及び面積	建築年月日
1	長節地区消防資機材庫 長節137番地3	第4分団	木造平屋建 10.35 m <sup>2</sup>	令和7年11月20日
2	幌茂尻地区消防機械置場 幌茂尻40番地	第4分団	鉄骨造平屋建 9.95 m <sup>2</sup>	令和3年9月17日
3	温根沼地区消防機械置場 温根沼48番地	第4分団	木造平屋建 12.15 m <sup>2</sup>	昭和61年8月14日
4	浜松地区消防機械置場 浜松9番地15	第5分団	木造平屋建 12.15 m <sup>2</sup>	昭和62年6月16日
5	昆布盛地区消防機械置場 昆布盛25番地	第5分団	木造平屋建 12.15 m <sup>2</sup>	昭和54年8月29日
6	別当賀地区消防機械置場 別当賀18番地7	第6分団	木造平屋建 12.15 m <sup>2</sup>	昭和55年10月9日
7	双沖地区消防機械置場 双沖1丁目127番地	第7分団	木造平屋建 12.39 m <sup>2</sup>	昭和49年6月20日
8	友知地区消防機械置場 友知86番地2	第7分団	木造平屋建 10.35 m <sup>2</sup>	令和6年12月20日
9	納沙布地区消防資機材庫 納沙布33番地9	第9分団	木造平屋建 12.15 m <sup>2</sup>	平成元年8月8日
10	瑤瑤瑠地区消防機械置場 瑤瑤瑠1丁目93番地1	第9分団	鉄骨造平屋建 9.95 m <sup>2</sup>	令和4年8月30日
11	温根元地区消防機械置場 温根元165番地	第9分団	鉄骨造平屋建 9.95 m <sup>2</sup>	令和5年9月29日

# 火災關係

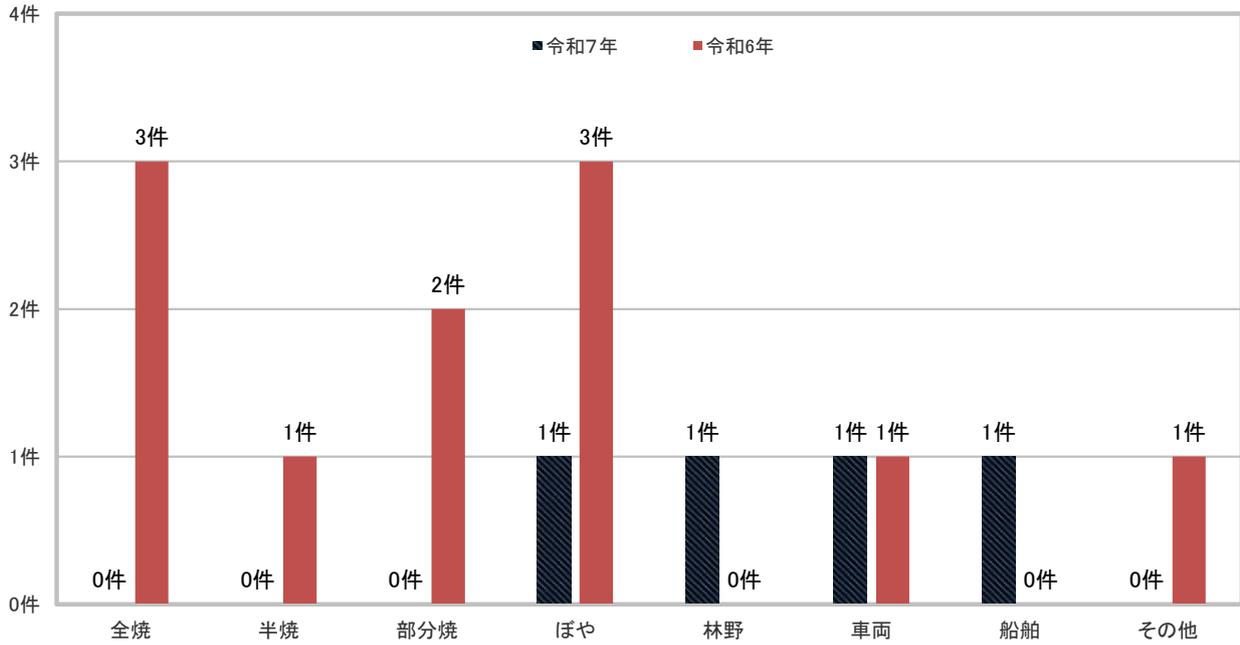


燒死者事故防止強調週間 濃煙中訓練

# 火災等発生状況

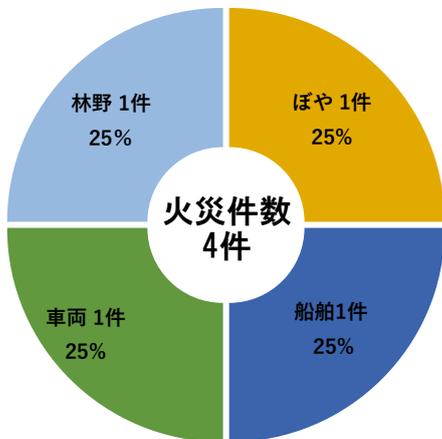
区 分		令和7年(a)	令和6年(b)	増減数(c) (a)-(b)
出 火 件 数	合 計	4	11	△ 7
	建 物	1	9	△ 8
	全 焼		3	△ 3
	半 焼		1	△ 1
	部 分 焼		2	△ 2
	ぼ や	1	3	△ 2
	林 野	1		1
	車 両	1	1	
	船 舶	1		1
	そ の 他		1	△ 1
焼 損 面 積	建物(m <sup>2</sup> )	床 面 積	782	△ 782
		表 面 積	3	△ 3
	林 野 ( a )	32	1	31
死 傷 者	死 者		2	△ 2
	負 傷 者	1	5	△ 4
り 災 世 帯 数	全 損		1	△ 1
	半 損			
	小 損	1	4	△ 3
	人 員	1	6	△ 5
損 害 額 (千円)	合 計	52	13,052	△ 13,000
	建 物	2	12,896	△ 12,894
	林 野			
	車 両	10	50	△ 40
	船 舶	40		40
	そ の 他		106	△ 106
	1件当たり	全火災 建 物	13 2	1,187 1,433
火 事 騒 ぎ	2	4	△ 2	

# 火災種別発生件数

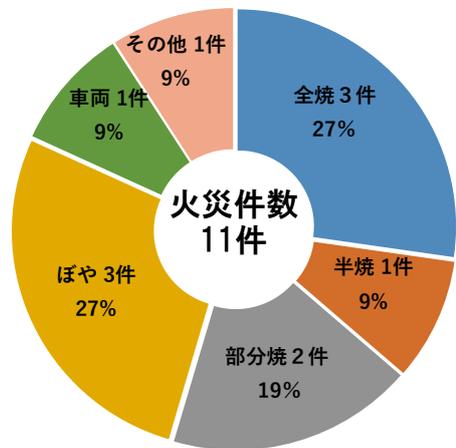


# 火災種別割合

令和7年



令和6年



# 月別火災等発生状況

区分 月別	火災件数								り災世帯				焼損面積			損害額 (千円)	死者	負傷者	火事騒ぎ	
	合計	建物				林野	車両	船舶	その他	全損	半損	小損	人員	建物 (㎡)						林野 (a)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや									床面積	表面積					
1	1						1										10			
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				1
8																				
9	1					1										32				
10	2				1			1				1	1				42		1	
11																				
12																				1
合計	4				1	1	1	1				1	1			32	52		1	2

# 原因別火災等発生状況

原因 区分	火 災 件 数								焼 損 面 積		損 害 額 (千円)				死 傷 者		火 事 騒 ぎ		
	合 計	建 物				林 野	車 両	船 舶	そ の 他	建物(m <sup>2</sup> )		林 野 (a)	合 計	建 物	内 容 物	そ の 他		死 者	負 傷 者
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や					床 面 積	表 面 積								
たばこ																			
こんろ																			
かまど																			
風呂かまど																			
炉																			
焼却炉																			
ストーブ																			
こたつ																			
ボイラー																			
煙突・煙道																			
排気管																			
電気機器																			
電気装置																		1	
電灯・電話等の配線	2					1	1				32	10				10			
内燃機関																			
配線器具																			
火あそび																			
マッチライター																			
たき火																			
溶接機	1											40				40			
灯火																			
衝突の火花																			
取灰																			
火入れ																			
放火																			
放火の疑い																			
その他	1				1							2	1	1			1	1	
不明																			
合計	4				1	1	1	1			32	52	1	1	50		1	2	



# 予 防 関 係



令和7年秋の火災予防運動  
(睦の園幼稚園幼年消防クラブによる「よさこい演舞」)

# 予防事務処理状況

区 分		件 数	処理区分及び件数					
			検 査	交 付	検 査 済 証	交 付	届 出 済 証	交 付
申請及び届出の別								
消 防 用 設 備 等	消防用設備等着工届出	11						
	消防用設備等設置届出	12	12	12				
	消防用設備等点検報告	504						
	防火対象物点検結果報告	7						
条 例 関 係	裸火使用・危険物品持込届出	3						
	防火対象物使用開始届出	14	14			14		
	炉・ボイラー・乾燥設備等設置届出	7				7		
	発電・変電・蓄電池設備設置届出	12				12		
	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生 おそれのある行為届出	9				9		
	煙火打上げ・仕掛け届出	12				12		
	催物開催届出							
	露店等の開設届出	9				9		
	水道断・減水届出							
	道路工事届出	29				29		
	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱届出	12				12		
	少量危険物等タンク検査申請							
そ の 他	防火管理者選(解)任届出	44						
	消防計画作成(変更)届出	66						
	液化石油ガス等貯蔵取扱届出	2						
	消防法令適合通知書交付申請							
	り災・その他の証明							
合 計		753	26	12		104		

# 危険物関係事務処理状況

区分	施設	立入	許可		完成検査		完成前検査	認可		承認		届出受理						
			設置	変更	設置	変更		予防	予防	仮使用	仮貯蔵・仮取扱	種類・数量変更	譲渡・引渡	廃止	危険物保安監督者選解任	名称変更等	軽微な工事	使用休止・再開
製造所等の別	総数	検査件数	延															
製造所																		
貯蔵所	屋内	3	1								4							
	屋外タンク	21	13		1		1			1								
	屋内タンク	6	4															
	地下タンク	55	16									2	1		2			
	簡易タンク																	
	移動タンク	44	41	3		3							4					
	屋外										4							
取扱所	給油	29	19		3		3		6	2					4	1	9	
	第1種販売																	
	第2種販売																	
	移送	3	3															
	一般	25	13													1		
合計	186	110		3	4		3		6	3	8		2	5	4	4	9	

# 防火団体結成状況

## 1 女性防火クラブ

団体名	会員数	結成年月日	備考
西厚床女性防火クラブ	12	昭和57年3月7日	
昆布盛女性防火クラブ	32	昭和60年4月1日	
歯舞漁協女性部防火クラブ 友知支部 双沖支部 新光支部 歯舞中央支部 歯舞郷星支部 瑠瑠瑠第一支部 瑠瑠瑠第二支部 納沙布支部 温根元第一支部 温根元第二・豊里支部	282 (36) (29) (35) (14) (34) (36) (40) (18) (22) (18)	昭和60年5月15日	10支部
花咲港女性防火クラブ	15	昭和61年5月10日	
落石西女性防火クラブ	53	昭和61年7月9日	
落石東町会女性防火クラブ	22	昭和61年7月9日	
浜松女性防火クラブ	18	昭和61年7月9日	
幌茂尻女性防火クラブ	20	昭和61年12月6日	
長節女性防火クラブ	24	昭和62年2月3日	
合計	478		9クラブ

( )の数は支部人数

## 2 少年消防クラブ

団体名	会員数	結成年月日	備考
花咲港少年消防クラブ	7	昭和62年7月19日	
歯舞少年消防クラブ	25	平成9年4月20日	
双友少年消防クラブ	15	平成14年10月29日	
合計	47		3クラブ

## 3 幼年消防クラブ

団体名	会員数	結成年月日	備考
睦の園幼稚園幼年消防クラブ	61	平成元年6月1日	
合計	61		1クラブ

## 4 危険物安全協会

団体名	会員数	結成年月日	備考
根室市危険物安全協会	28	昭和39年4月1日	
合計	28		1団体

# 防火対象物及び中高層建築物状況

政令項目別			防火対象物数				立入 検査 数 (延)	防火管理者			中高層建築物			
			特 例 認 定	第 1 種	第 2 種	第 3 種		必 要 数	選 任 数	選 任 率 (%)	4 階	5 階	6 階 以 上	合 計
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場		1			1	1	1	100				
	ロ	公会堂・集会場	9	3			3	12	12	100				
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等												
	ロ	遊技場・ダンスホール	2	1			1	3	3	100				
	ハ	性風俗関連特殊営業												
	ニ	カラオケボックス等の個室店舗		1			1	1	1	100				
3	イ	待合・料理店												
	ロ	飲食店	1	23		22	21	32	29	90				
4		百貨店・マーケット等	5	19		20	15	29	29	100	1			1
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		14		12	15	15	15	100		2	1	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅			14	66		15	15	100	5	18		23
6	イ	病院・診療所・助産所		2		6	2	2	2	100	2			2
	ロ	老人ホーム等(主に入所)		11		1	12	12	12	100				
	ハ	老人福祉センター等(主に通所)		12		12	19	14	14	100				
	ニ	幼稚園・特別支援学校		1			1	1	1	100				
7		小学校・中学校・高等学校等			13	1	8	13	13	100	1			1
8		図書館・博物館・美術館			5			5	5	100				
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等												
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場			1	2		1	1	100				
10		車両の停車場等				1								
11		神社・寺院・教会等			5	20	7	23	23	100				
12	イ	工場・作業所			13	119		13	13	100				
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ												
13	イ	自動車庫・駐車場				3								
	ロ	飛行機等の格納庫												
14		倉庫				43		4	4	100				
15		前各項に該当しない事業場			27	82	1	37	37	100	5	4		9
16	イ	複合用途特定防火対象物	4	17		33	16	29	28	96				
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物			5	15	4	6	6	100			1	1
17		重要文化財等の建造物				1								
合 計			21	105	83	459	127	268	264	98	14	24	2	40
			668											

## 消防訓練・救急講習・予防広報実施状況

区分 実施内容			地 域 住 民	事 業 所 等	学 校 等	幼 稚 園 等	自 主 防 災 組 織 等	合 計
消防訓練	消 防 訓 練	回 数	4	18	22	16	13	73
		参加人数	52	367	2,590	733	212	3,954
	防 火 講 習	回 数	2	11	17	9	11	50
		参加人数	30	243	1,849	456	212	2,790
	救 急 講 習	回 数	9	25	15	2	7	58
		参加人数	109	333	351	35	100	928
合 計		回 数	15	54	54	27	31	181
		参加人数	191	943	4,790	1,224	524	7,672
予 防 広 報	防火チラシ・ポスター配布	回 数	2	4	2	2		10
		(件)	980	442	29	18		1,469
	文 書 に よ る 啓 発	回 数	3	4	2	3	6	18
		(件)	122	396	24	16	8	566
	実 地 広 報 活 動 等	回 数	3			2	2	7
		(件)	180			239	31	450
	SNS に よ る 広 報	回 数	3	1			4	8
		(回)	11	5			4	20
合 計		回 数	11	9	4	7	12	43
		件(回)	1,293	843	53	273	43	2,505

# 建築物同意事務処理状況

政令項目別		区分	合計	月別受付件数												工事種別(左表内訳)				
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	新築	増築	改築	変更	計画
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場																		
	ロ	公会堂・集会場																		
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																		
	ロ	遊技場・ダンスホール																		
	ハ	性風俗関連特殊営業																		
	ニ	カラオケボックス等の個室店舗																		
3	イ	待合・料理店																		
	ロ	飲食店																		
4		百貨店・マーケット等																		
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所																		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	1									1			1					
6	イ	病院・診療所・助産所																		
	ロ	老人ホーム等(主に入所)																		
	ハ	老人福祉センター等(主に通所)																		
	ニ	幼稚園・特別支援学校																		
7		小学校・中学校・高等学校等	1					1												
8		図書館・博物館・美術館																		
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等																		
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																		
10		車両の停車場等																		
11		神社・寺院・教会等																		
12	イ	工場・作業所	1						1						1					
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																		
13	イ	自動車車庫・駐車場																		
	ロ	飛行機等の格納庫																		
14		倉庫	2					1	1					2						
15		前各項に該当しない事業場	3	1				2						2					1	
16	イ	複合用途特定防火対象物																		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物																		
17		重要文化財等の建造物																		
小計			8	1				4	2			1		6	1				1	
住宅	同意		3	1							2			3						
	通知		29	1	2	7		3	1	2	10		1	1	1	21	2		6	
その他(危険物施設等)																				
工作物・その他			2									1	1	1					1	
小計			34	2	2	7		3	1	2	10	2	2	1	2	25	2		7	
合計			42	2	3	7		3	5	4	10	2	3	1	2	31	3		8	

# 警 防 関 係



令和7年度根室市総合防災訓練

## 有線通信施設配置状況

区分	種別	回線数	備考	
有線 電話	指令台	固定電話回線	8	
		119番回線	8	発信地表示含む
		IP電話回線	8	
	台	HELPNET緊急通報サービス回線	1	電話リレーサービス含む
		携帯電話転送用回線	2	同時4
		加入電話回線	3	
	一般	順次指令回線	4	
		災害情報自動案内回線	4	
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	1	
		高齢者等緊急通報システム出動要請受信電話	1	
FM緊急放送システム		1		
NET119緊急通報システム		1	映像通報システムと兼用	
消防・災害相談ダイヤル(ISDN)		1	同時2	
加入電話	7	本部3・分遣所等4		
FAX	5	本部1・分遣所等4		

## 無線通信施設配置状況

区分	種別・チャンネル	施設数	備考		
無線 デジタル 設備	基地局	活動波 2	3	本部1、分遣所等2	
	移動局	車載型	(消防波・救急波)	21	本部17、分遣所等4
		携帯型	統制波 3	26	本部22、分遣所等4
		可搬型	(全国共通波)	2	本部2
		卓上型	主運用波 7	3	本部1、分遣所2
	アナログ	携帯型	UHF帯 17	30	緊急消防援助隊が消防応援等出動時又はその訓練時に使用する周波数15チャンネル含む

## 衛星携帯電話配置状況

種別	台数	備考
衛星携帯電話	5	本部1、分遣所等4

## 防災行政用無線

種別	施設数	備考
デジタル防災行政無線	1	親局：根室市役所 (10W) 中継局：花咲港 (10W)

## 救助出動件数及び活動件数

( )前年数

事故種別 区分		火	災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 事 故	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 動 件 数		0 (2)		5 (6)	0 (2)		0 (1)					2 (3)	7 (14)
活 動 件 数		0 (2)		2 (2)	0 (1)		0 (0)					0 (1)	2 (6)

## 救助事故種別出動人員及び活動人員

事故種別 区分		火	災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 事 故	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 動 人 員	救 助 隊 員			22								10	32
	消 防 隊 員			8								6	14
	救 急 隊 員			16								9	25
合 計				46								25	71
活 動 人 員	救 助 隊 員			9									9
	消 防 隊 員			4									4
	救 急 隊 員			6									6
合 計				19									19

# 救助器具保有状況

区 分	品 名	数 量	区 分	品 名	数 量
一般救助用	かぎ付はしご	1	呼吸保護用	空気呼吸器	5
	三連はしご	1		送排風機	1
	ワイヤはしご	1	検知・測定用	可燃性ガス・有毒ガス 酸素濃度測定器	2
	空気式救助マット	1		放射線測定器	10
	救命索発射銃	1	隊員保護用	革手袋	5
	サバイバースリング (救助用縛帯)	3		耐電衣	5
	平担架	2		耐電手袋	5
	バスケット担架	2		耐電長靴	5
	ロープ	25		安全带(フルハーネス型 墜落制止用器具)	5
	カラビナ	46		防塵メガネ	5
滑車	23	携帯警報器		5	
重量物排除用	油圧ジャッキ	1		全面マスク (防毒マスク)	5
	大型油圧スプレッダー	2	切創防止用保護衣	5	
	可搬ウインチ	1	化学防護服	5	
	ワイヤーロープ	1	水難救助用	ドライスーツ一式	5
	マット式空気ジャッキ	1		水難救助器具一式	1
	マンホール救助器具	1		救命胴衣	5
切 断 用	油圧切断機	2		水中投光器	5
	エンジンカッター	1	救命浮環 (遠隔操作型無人救命浮環含む)	2	
	ガス溶断器	1	救命ボート	1	
	チェーンソー	1	船外機	1	
	鉄線カッター	1	水中探査装置	1	
	空気鋸	1	その他の 救 助 用	投光器	2
	電動鋸	1		携帯拡声器	1
破 壊 用	万能斧	1		携帯無線機 (署活系無線含む)	6
	ハンマー	1		応急処置用セット	1
	携帯用コンクリート 破壊器具	1		車両移動器具	4
	削岩機	1		発電機	2
	ハンマドリル	1	その他の携帯救助工具	2	

# 消防車両現勢

区分 所属		車両名	車名型式	登録年 月	エンジン 出力 (Ps)	ポンプ 級別	水槽容量 (ℓ)	車両 総重量 (kg)	最大 放水量 (m <sup>3</sup> /分)	経過 年月
消防本部 消防署		根室水槽1	日野 SDG-GX7JGAA 改	H26.12	220	A-2	2,000	11,540	3.80	11.0
		根室水槽2	日野 2PG-FQ1AJG 改	R1.8	380	A-2	6,500	20,470	2.00	6.4
		根室水槽3	日野 SDG-GX7JGAA 改	H28.10	220	A-2	2,000	11,670	3.80	9.2
		根室水槽4	日野 2PG-FQ1AJG 改	H30.10	380	A-2	6,000	20,410	3.80	7.2
		はしご車	日野 QKG-FH1ALAA 改	H25.10	320	A-2		16,450	2.50	12.2
		化学車	日野 U-FT3HGAL 改	H5.11	185	A-2	水 1,300 薬 500	9,705	2.29	32.1
		救助工作車	日野 2PG-FH1AGA 改	R4.3	320			16,250		3.9
		救急1	日産 CBF-CS8E26 改	R3.1	147			3,175		4.11
		救急2	日産 3BF-CS8E26 改	R4.11	147			3,265		3.0
		救急3	トヨタ CBF-TRH226S	H28.1	151			3,280		9.11
		広報車	三菱 DBA-V93W	H22.10	178			2,505		15.2
		広報車2	トヨタ DBE-NCP165V	H30.9	103			1,670		7.3
		防火号	スバル EBD-S331B	H26.6	53			1,410		11.6
		指揮車	トヨタ 3BF-TRH228B	R4.1	160			3,025		3.11
	司令車	トヨタ GH-RZN185W	H14.2	170			2,045		23.10	
	資機材搬送車	いすゞ 2RG-NMS88AR	R7.2	150			5,265		0.10	
消防団	第1分団	根室C-1	日野 BDG-XZU378M	H21.9	150	A-2	600	6,730	2.80	16.3
	第2分団	根室C-2	日野 BDG-XZU378M	H21.9	150	A-2	600	6,730	2.80	16.3
	第3分団	花咲号	日野 KC-FS4FMCA	H8.3	390	A-2	6,500	19,945	2.38	29.9
	第5分団	落石号	日野 BDG-XZU378M	H20.9	150	A-2	600	6,590	2.25	17.3
	第6分団	厚床号	日野 KC-FS4FMEA 改	H12.5	390	A-2	6,500	19,865	2.23	25.7
	第8分団	齒舞号	日野 BDG-FT8JGWL 改	H19.12	227	A-2	3,000	12,200	2.26	18.0
・水槽付消防ポンプ自動車 7台 ・消防ポンプ自動車 3台 ・救助工作車 1台 ・化学消防ポンプ自動車 1台 ・25m屈折はしご付消防ポンプ自動車(1節3段伸縮) 1台 ・資機材搬送車 1台 ・救急自動車 3台 ・指揮車 1台 ・広報車 4台										

## 小型動力ポンプ配置状況

所 属	配置場所	登録年月	ポンプ 製作所	エンジン 出力 (P s)	ポンプ 級 別	最大放水量 (m <sup>3</sup> /分)	経過年月
第1分団	消 防 署	H17. 9	シバウラ	4	D1	0.24	20.3
第2分団	消 防 署	R 1. 6	トーハツ	40	B2	1.29	6.6
第3分団	花咲号積載	H 8. 3	トーハツ	54	B3	1.40	29.9
第4分団	幌 茂 尻	H27. 1	トーハツ	30	B2	1.00	10.11
	温 根 沼	H22. 9	トーハツ	30	B2	1.00	15.3
	長 節	H30. 8	トーハツ	30	B2	1.00	7.4
第5分団	昆 布 盛	H23. 6	トーハツ	30	B2	1.00	14.6
	浜 松	H29.10	トーハツ	30	B2	1.00	8.2
第6分団	厚床号積載	H12. 5	トーハツ	54	B3	1.42	25.7
	別 当 賀	H27. 8	トーハツ	30	B2	1.00	10.4
第7分団	友 知	H28. 9	トーハツ	30	B2	1.00	9.3
	双 沖	H24. 8	トーハツ	30	B2	1.00	13.4
第8分団	歯舞号積載	H19.12	トーハツ	54	B2	1.29	18.0
第9分団	瑠 瑠 瑠	H20.10	シバウラ	31	B2	1.00	17.2
	納 沙 布	H25. 8	トーハツ	30	B2	1.00	12.4
	温 根 元	H21.10	シバウラ	31	B2	1.00	16.2

## 消防用資機材保有状況

品 名	数 量	品 名	数 量
ホ ー ス 65 mm	469	照 明 器 具	15
ホ ー ス 50 mm	231	耐 熱 服	5
ホ ー ス 40 mm	135	ロープレスキュー用資器材	2
消 火 原 液 (ℓ)	3,360	拡 声 装 置	22
空 気 呼 吸 器	27	二 連 は し ご	5
空 気 ポ ン ベ	85	三 連 は し ご	6
ジエツトシューター	58	か ぎ 付 は し ご	6
チェ ー ン ソ ー	4	発 電 機	16
エ ン ジ ン カ ッ タ ー	6	ガ ス 検 知 器	1
熱 画 像 探 知 機	2	泡 管 槍	9
排 煙 機	4	電 動 鋸	2
電動油圧救助器具	1		

※ P36の救助器具は除く

## 消火薬剤現有状況

種 別	総 数 (ℓ)	備 蓄 (ℓ)	
		備 蓄 (ℓ)	車 載 (ℓ)
一般火災用消火薬剤	1,500	960	540
油火災用消火薬剤	1,860	1,100	760
合 計	3,360	2,060	1,300

# 水利施設

( )前年数

区分 地区		算定数 (箇所) (A)	整備数 (箇所) (B)	比率 (B)/(A) (%)	消防水利の現況			
					消火栓(基)		防火水槽 (基)	合計 (基)
					公設	私設		
市街地		365	300(297)	82.2(81.4)	296(294)	9(9)	56(55)	361(358)
そ の 他 の 地 域	桂木	3	3(3)	100.0	3(3)			3(3)
	月岡町2丁目	2	2(2)	100.0	1(1)	1(1)		2(2)
	穂香	2	2(2)	100.0	2(2)	1(1)		3(3)
	牧の内	1	1(1)	100.0	1(1)			1(1)
	花咲港	24	24(24)	100.0	26(26)	5(5)	2(2)	33(33)
	幌茂尻	2	2(2)	100.0			2(2)	2(2)
	温根沼	3	3(3)	100.0			3(3)	3(3)
	東梅	3	3(3)	100.0			3(3)	3(3)
	長節	3	3(3)	100.0			3(3)	3(3)
	昆布盛	4	4(4)	100.0			4(4)	4(4)
	浜松	3	3(3)	100.0			3(3)	3(3)
	落石	14	14(14)	100.0	12(12)		4(4)	16(16)
	別当賀	1	1(1)	100.0			1(1)	1(1)
	厚床	6	6(6)	100.0	2(2)		4(4)	6(6)
	友知	7	8(8)	100.0	9(9)		1(1)	10(10)
	双沖	5	5(5)	100.0	5(5)			5(5)
	齒舞	19	19(19)	100.0	20(20)		2(2)	22(22)
	瑠瑠瑠	16	16(16)	100.0	14(14)		2(2)	16(16)
納沙布	3	3(3)	100.0	2(2)		1(1)	3(3)	
温根元	4	4(4)	100.0	2(2)		2(2)	4(4)	
合計		490	426(423)	86.9(86.3)	395(393)	16(16)	93(92)	504(501)

# 救急関係



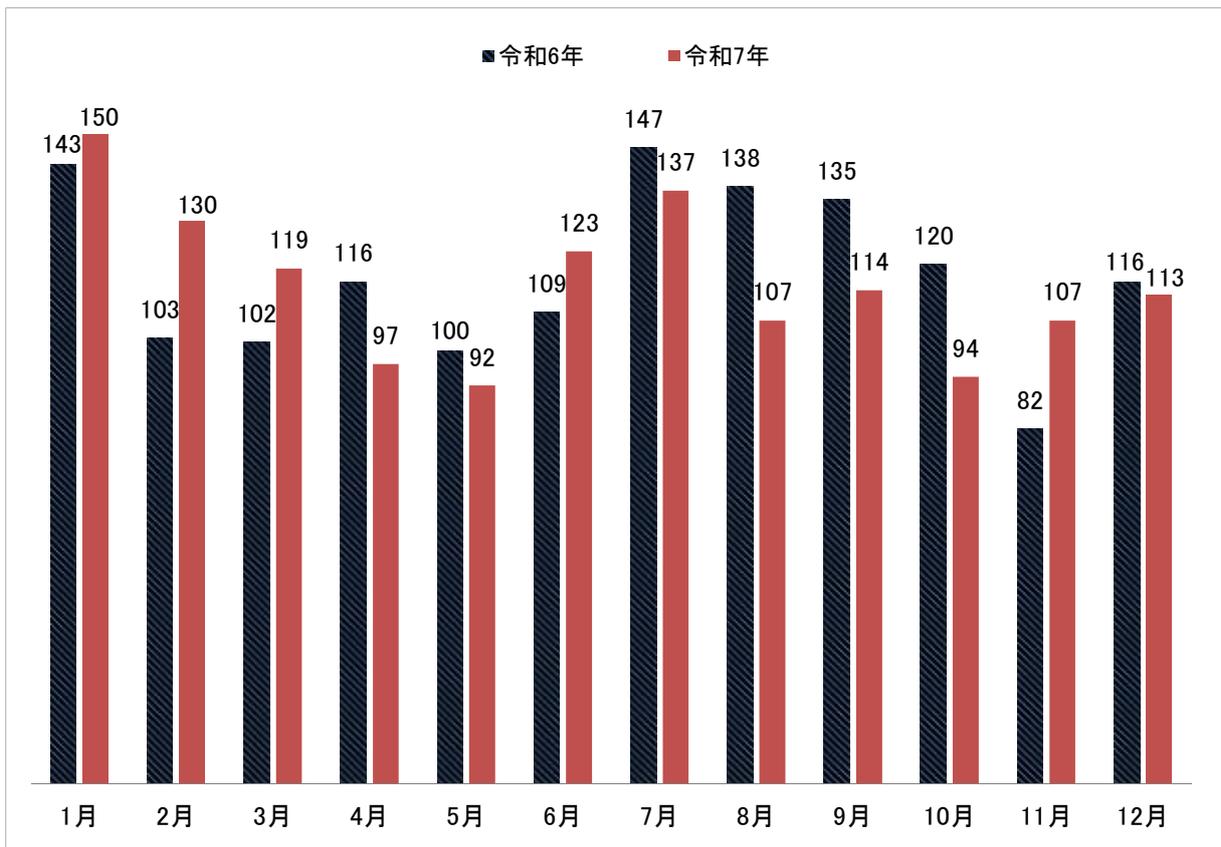
令和7年救急総合シミュレーション訓練

# 救急出動状況

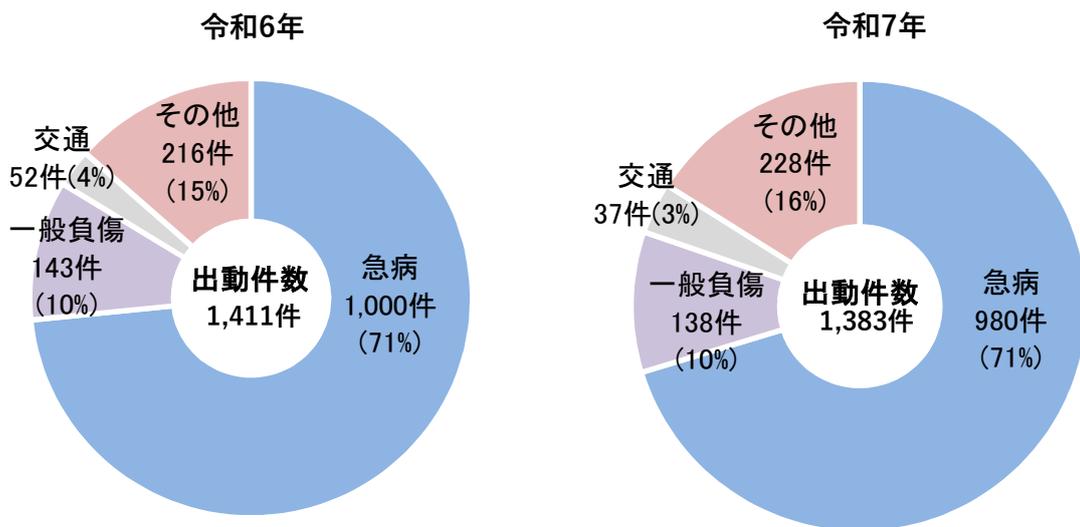
( )前年数

月別	種別 区分	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計		不 搬 送
1	出動件数				5		1	14		1	109	20	150	(143)	16
	搬送件数				4		1	14		1	98	16	134	(133)	
	搬送人員				4		1	14		1	98	16	134	(133)	
2	出動件数				6	6		18		1	83	16	130	(103)	9
	搬送件数				4	6		17		1	78	15	121	(89)	
	搬送人員				4	6		17		1	78	15	121	(91)	
3	出動件数				6	4		14		1	79	15	119	(102)	12
	搬送件数				5	4		13			73	12	107	(92)	
	搬送人員				6	4		13			73	12	108	(92)	
4	出動件数				3	3		10		1	68	12	97	(116)	9
	搬送件数				3	3		10		1	60	11	88	(103)	
	搬送人員				3	3		10		1	60	11	88	(103)	
5	出動件数				1	1		12			62	16	92	(100)	4
	搬送件数				1	1		12			61	13	88	(92)	
	搬送人員				1	1		12			61	13	88	(92)	
6	出動件数				5	1	2	10		1	88	16	123	(109)	10
	搬送件数				5	1	2	8		1	83	13	113	(100)	
	搬送人員				5	1	2	8		1	83	13	113	(100)	
7	出動件数					4		7		1	108	17	137	(147)	11
	搬送件数					4		7		1	98	16	126	(132)	
	搬送人員					4		7		1	98	16	126	(134)	
8	出動件数				1	4	1	13	1		79	8	107	(138)	9
	搬送件数				1	4	1	11	1		72	8	98	(124)	
	搬送人員				1	4	1	11	1		72	8	98	(124)	
9	出動件数				3	4	1	11		1	78	16	114	(135)	4
	搬送件数				2	4	1	11		1	75	16	110	(126)	
	搬送人員				2	4	1	11		1	75	16	110	(127)	
10	出動件数	1			2	2		8		2	63	16	94	(120)	9
	搬送件数	1			1	2		8		1	58	14	85	(112)	
	搬送人員	1			1	2		8		1	58	14	85	(112)	
11	出動件数				2			11			79	15	107	(82)	15
	搬送件数				2			9			70	11	92	(76)	
	搬送人員				2			9			70	11	92	(76)	
12	出動件数				3	3		10			84	13	113	(116)	8
	搬送件数				3	3		9			77	13	105	(102)	
	搬送人員				3	3		9			77	13	105	(102)	
合 計	出動件数	1			37	32	5	138	1	9	980	180	1,383	(1,411)	116
	搬送件数	1			31	32	5	129	1	7	903	158	1,267	(1,281)	
	搬送人員	1			32	32	5	129	1	7	903	158	1,268	(1,286)	

## 月別救急出動件数



## 事故種別出動内訳



※ その他の事故種別内訳は、「火災」「自然災害」「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」「転院搬送」「医師搬送」「資器材等搬送」が含まれる。

## 事故種別・応急処置対象人員

種別 人員	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	903	32	129	204	1,268

※ その他の事故種別内訳は、「火災」「自然災害」「水難」「労働災害」「運動競技」「加害」「自損行為」「転院搬送」が含まれる。

## 応急処置内容

( ) 前年数

処置	件数
止血	22 (20)
固定	76 (103)
人工呼吸	7 (9)
心マッサージ	
心肺蘇生	50 (42)
酸素吸入	304 (288)
気道確保	66 (51)
保温	16 (10)
被覆	45 (43)
在宅療法継続	150 (129)
除細動	5 (4)
薬剤投与	23 (14)
血圧測定	1,209 (1,236)
聴診器聴取	1,185 (1,181)
血中酸素飽和度の測定	1,214 (1,243)
心電図	1,184 (1,195)
心肺機能停止前の静脈路確保	5 (3)
心肺機能停止後の静脈路確保	24 (13)
血糖測定	41 (78)
エピペン投与	
ブドウ糖溶液投与	10 (8)
その他の応急処置	1,232 (1,238)
合計	6,868 (6,908)

## 事故種別・傷病程度別搬送人員

種別 傷病程度	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合 (%)
死亡				1	1		2		1	40		45	3.5
重症				2	5		22			135	36	200	15.8
中等症				12	14	2	55		3	458	121	665	52.5
軽症	1			17	12	3	50	1	3	270	1	358	28.2
その他													
合計	1			32	32	5	129	1	7	903	158	1,268	100.0
割合 (%)	0.1			2.5	2.5	0.4	10.2	0.1	0.5	71.2	12.5	100.0	

## 年齢層別・傷病程度別搬送人員

年齢層別 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	割合 (%)
死亡				8	37	45	3.5
重症		1	2	33	164	200	15.8
中等症		4	14	151	496	665	52.5
軽症		9	8	118	223	358	28.2
その他							
合計		14	24	310	920	1,268	100.0
割合 (%)		1.1	1.9	24.4	72.6	100.0	

## 事故種別・年齢層別搬送人員

種別 年齢層別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合 (%)
新生児													
乳幼児							4			10		14	1.1
少年						2	2		1	15	4	24	1.9
成人	1			18	24	2	14	1	2	208	40	310	24.4
高齢者				14	8	1	109		4	670	114	920	72.6
合計	1			32	32	5	129	1	7	903	158	1,268	100.0
割合 (%)	0.1			2.5	2.5	0.4	10.2	0.1	0.5	71.2	12.5	100.0	

## 事故種別・曜日別出動件数

種別 曜日別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合 (%)
日曜日				5	1	3	20		3	118	27	177	12.8
月曜日				4	5		24		1	155	29	218	15.8
火曜日				7	7	1	22		1	160	34	232	16.8
水曜日				3	5		17		2	142	35	204	14.8
木曜日	1			6	6	1	19		1	123	15	172	12.4
金曜日				3	5		18		1	154	24	205	14.8
土曜日				9	3		18	1		128	16	175	12.6
合計	1			37	32	5	138	1	9	980	180	1,383	100.0
割合 (%)	0.1			2.7	2.3	0.4	10.0	0.1	0.6	70.8	13.0	100.0	

## 休日・平日・時間別出動件数

種 別 区 分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 搬 送	そ の 他	
休 日				10	4	3	26		3	174	30			3	253
平 日	1			27	28	2	112	1	6	806	128	7		12	1,130
合 計	1			37	32	5	138	1	9	980	158	7		15	1,383
時 間 別 内 訳	0~2						5		1	43					49
	2~4						2			34	3			2	41
	4~6				3	3	9		1	37	1			1	55
	6~8				2	3	13		1	88	3			1	111
	8~10				5	5	1	26		1	152	11		1	202
	10~12				4	4	1	20		1	120	36	3		189
	12~14				7	7	1	18		1	108	27	3	4	176
	14~16				5	8	1	13		2	94	27	1		152
	16~18				7	1	1	11	1	1	106	20			149
	18~20				4	1		9			75	12			102
	20~22							9			75	10			95
22~24	1						3			48	8			62	

# 医療機関別搬送人員

種 別 告示別等 開設者別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合	
		災	然 災 害	難	通	働 災 害	動 競 技	般 負 傷	害	損 行 為	病	の 他	計	
機救 急告 示医 関療	国 立											5	5	
	公 立	1			32	31	5	128	1	6	897	61	1,162	
	公 的											5	5	
	私 的	病 院					1						87	88
		診 療 所												
小 計	1			32	32	5	128	1	6	897	158	1,260		
機そ の他 の医 関療	国 立													
	公 立													
	公 的													
	私 的	病 院							1		1	6		8
		診 療 所												
小 計							1		1	6		8		
計	国 立											5	5	
	公 立	1			32	31	5	128	1	6	897	61	1,162	
	公 的											5	5	
	私 的	病 院					1		1		1	6	87	96
		診 療 所												
小 計	1			32	32	5	129	1	7	903	158	1,268		
のそ 場 の 所 他	接骨院等													
	そ の 他													
	小 計													
合 計		1			32	32	5	129	1	7	903	158	1,268	

## 転院搬送状況

( )前年数

種別 収容病院	管 外		市 内	件 数
		ドクターヘリ		
釧路孝仁会記念病院	98 (81)	18 (14)		98 (81)
市立釧路総合病院	20 (21)	6 (3)		20 (21)
釧路赤十字病院	5 (5)			5 (5)
釧路労災病院	8 (5)	3		8 (5)
釧路三慈会病院	(1)			(1)
東北海道病院	(3)			(3)
帯広厚生病院				
市立根室病院			27 (27)	27 (27)
江村精神科内科病院			(3)	(3)
町立中標津病院				
町立別海病院				
根室共立病院				
そ の 他				
合 計	131 (116)	27 (17)	27 (30)	158 (146)

## 道東ドクターヘリ運航状況

( )前年数

出動区分 収容病院	救急現場出動	緊急外来搬送	施設間搬送	件 数
釧路孝仁会記念病院			18 (14)	18 (14)
市立釧路総合病院	1 (4)	1	6 (3)	8 (7)
釧路赤十字病院				
釧路労災病院			3	3
帯広厚生病院				
国立病院機構 帯広病院				
合 計	1 (4)	1	27 (17)	29 (21)

備 考

- 1 救急現場出動とは、ドクターヘリが救急現場へ出動し治療開始するとともに、搬送時間短縮を目的に医療機関へ搬送することをいう。
- 2 緊急外来搬送とは、ドクターヘリが到着まで一時的に直近医療機関に搬送された傷病者を他の医療機関に搬送することをいう。
- 3 施設間搬送とは、医療機関で初期治療が開始されている傷病者を他の医療機関に転院させるために搬送することをいう。

# 附 表

# 過去10年間の火災等発生状況

区 分		年 別										合 計	
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
火 災 件 数	建 物	全 焼		1	2	4	2	2	1	3	3		18
		半 焼	2	1	2						1		6
		部分焼	3	2	1		1	1		1	2		11
		ぼ や	1	3	3	2			1		3	1	14
	林 野	1				2	1				1	5	
	車 両	2	2		1	5	4	1		1	1	17	
	船 舶				1	1					1	3	
	そ の 他			1	3	1	2	1		1		9	
	合 計		9	9	9	11	12	10	4	4	11	4	83
	焼 損 面 積	建 物 (㎡)	床面積	664	83	508	225	355	347	1,228	884	782	
表面積					6	3					3		12
林野 (a)		380				67	25			1	32	505	
損 害 額 ( 千 円 )		54,274	9,397	14,625	235,843	29,232	26,724	20,996	23,918	13,052	52	428,113	
死 傷 者 数	死 者							1		2		3	
		高齢者								2		2	
	負 傷 者			1	1						5	1	8
		高齢者									1		1
出 火 率		3.3	3.4	3.5	4.3	4.8	4.1	1.7	1.7	4.9	1.8	3.4	
火 事 騒 ぎ		3	10	2	4	7	2	3	3	4	2	40	

※ 出火率：人口1万人当たりの出火件数

# 過去10年間の原因別火災等発生状況

原因	年 別										合 計
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
たばこ	2		1	1 (1)			1	(1)			5 (2)
こんろ	(3)		1 (1)	(1)	1 (3)	(1)	(1)		1		3 (10)
かまど											
風呂かまど											
炉											
焼却炉	1						(1)				1 (1)
ストーブ	1	2	3	2				2	2		12
こたつ											
ボイラー											
煙突・煙道	1	(3)	1		(1)		(1)				2 (5)
排気管											
電気機器				1 (1)				1	1		3 (1)
電気装置	1								1	(1)	2 (1)
電灯・電話等の配線		3 (2)			2 (2)				3	2	10 (4)
内燃機関											
配線器具			1			(1)					1 (1)
火あそび		(1)	(1)								(2)
マッチ・ライター	1					1					2
たき火											
溶接機・切断機		1 (1)		1 (1)		2				1	5 (2)
灯 火							1		(1)		1 (1)
衝突の火花											
取 灰		(1)		1							1 (1)
火 入 れ											
放 火											
放火の疑い					(1)		1		(1)		1 (2)
そ の 他	2	3 (1)	2	3	5	5	1	(1)	2 (1)	1 (1)	24 (4)
不 明		(1)		2	4	2		1 (1)	1 (1)		10 (3)
合 計	9 (3)	9 (10)	9 (2)	11 (4)	12 (7)	10 (2)	4 (3)	4 (3)	11 (4)	4 (2)	83 (40)

※ ( ) 火事騒ぎの件数

# 過去10年間の建物用途別火災及び死者発生状況

年 別		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合 計			
		件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者	件数	死者		
建 物	居住 建物	住 宅	4	3	4	1	1				2	1	1	16	1
		共同住宅	1		1						3	1		5	1
		併用住宅			2	1	1							4	
	百貨店														
	旅館														
	学 校														
	そ の 他	工場・事務 所・倉庫等	1	3	1	4	1	1	2	4	4			21	
		店 舗 飲 食 店 等		1				2						3	
		空 家													
	小 計	6	7	8	6	3	3	2	4	9	2	1	49	2	
林 野	1					2	1				1		5		
車 両	2	2		1	5	4	1	1		1	1		17	1	
船 舶				1	1						1		3		
そ の 他			1	3	1	2	1		1				9		
合 計	9	9	9	11	12	10	4	1	4	11	2	4	83	3	

## 過去の特殊火災記録（市制施行後）

年 別	出火月日	出火場所	用 途	出火原因	焼 損 棟 数	焼 損 面 積	り 災 世帯数	り 災 人 員	死 者	負傷者	損 害 見積額 (千円)
S33	1月8日	緑 町	住 宅	ストーブ	1	50	1	2	1		2
	5月16日	花 園 町	共 同 住 宅	不 明	3	330	7	27	1		2,500
S34	1月12日	齒舞村大字友知	住宅、畜舎	ストーブ	2	152			8		(応援)
S35	11月13日	花 咲 港	水産加工場	不 明	7	2,180					36,254
S36	7月12日	岬 町	冷 凍 工 場	溶 接	2	1,161				1	76,647
	12月23日	花 園 町	病 院	か ま ど	1	74	1	85	1		2,392
S37	5月20日	西 月 ヶ 岡	乾 燥 工 場	不 明	3	2,376					10,646
	12月10日	温 根 元	住 宅	ストーブ	1	120	1	9	2	2	1,050
S39	5月1日	根室港北方埠頭	船 舶	ストーブ					1	6	不明
S40	3月10日	海 岸 町	工 場	ストーブ	2	668					23,242
	6月27日	昆 布 盛	住 宅	不 明	3	153	2		1		2,240
	10月20日	琴 平 町	造 船 工 場	炉	6	1,199	2				23,306
	11月28日	月 ヶ 岡	住宅兼車庫	ストーブ	2	419	2				12,202
S41	1月22日	花 咲 港	漁 業 番 屋	ローソク	3	83	1	1	1		2,626
	2月3日	花 咲 港	船 舶	ストーブ					1	1	100
	3月12日	弥 栄 町	ア パ ー ト	ストーブ	1		1	1	1		10
	12月23日	花 園 町	共 同 住 宅	ストーブ	2	443	3	20	1	1	3,364
	12月28日	海 岸 町	営 業 倉 庫	不 明	1	462					10,974
S42	1月26日	本 町	倉 庫	不 明	3	1,259	1	2			37,120
	4月26日	弥 生 町	公 民 館	放 火	1	281				8	1,822
	6月17日	琴 平 町	工 場	不 明	1	743					19,470
	7月2日	栄 町	学 校	放 火	1	1,133				2	21,000
	9月14日	海 岸 町	工 場	煙 突	1	728					10,711
	9月26日	海 岸 町	寄 宿 舎	煙 突	1	538	1	29	1	5	4,670
	10月16日	光 洋 町	学 校	放火の疑い	1	1,813	1	3		1	30,193
	10月18日	花 咲 港	住宅付加工場	放火の疑い	10	517	6	23			12,420
S43	2月13日	花 咲 港	船 舶	た ば こ							15,000
	5月31日	駒 場 町	事務所兼工場	煙 突	1	81					69,265
S44	6月3日	花 園 町	住 宅	た ば こ	1		1	2	1		20
	10月23日	花 咲 港	船 舶	こ ん ろ					1	1	813
S45	11月12日	本 町	住 宅	こ ん ろ	1	124	3	8	1		2,265
S46	1月5日	弥 生 町	病 院	ストーブ	1				1		46
	3月4日	本 町	旅 館	ローソク	3	771	3	17	2	1	15,418
	3月15日	穂 香	造 船 所	た ば こ	1	627				1	28,620
	4月22日	西 浜 町	工 場	ストーブ	1	999					30,000
	7月2日	琴 平 町	造 船 所	バーナー	4	889				1	16,235
	11月23日	花 咲 港	店舗付住宅	ふろがま	3	205	2	7	1		7,123

年 別	出火月日	出火場所	用 途	出火原因	焼 損 棟 数	焼 損 面 積	り 災 世帯数	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)
S47	1月22日	汐見町	冷凍工場	不明	1	1,497					142,448
	3月6日	琴平町	冷凍工場	ストーブ	1	497					61,317
	3月15日	温根元	住 宅	不明	2	121	1	6	3	1	1,064
	12月30日	有磯町	住 宅	ストーブ	1	30	1	3	1		831
S48	1月17日	花咲港	船 舶	不明					1		1,670
	10月30日	花咲港	船 舶	たばこ					1		30
S49	4月24日	齒 舞	住宅付店舗	不明	1	129	1	4	1		5,994
	6月8日	幌茂尻	住 宅	ストーブ	1	185			1		435
	12月6日	岬 町	住 宅	取 灰	1	33	1	7	3	2	1,333
S50	5月30日	宝林町	加 工 場	不明	1	447					116,176
S52	2月25日	別当賀	住 宅	ストーブ	1	93	1	4	1	1	652
	3月29日	大正町	冷凍工場	ストーブ	1	1,167				1	381,412
	7月16日	温根沼	寺院付住宅	線 香	1	223	1	2	2		12,283
	8月25日	納沙布沖	船 舶	不明					1	2	85,900
	12月18日	花園町	住 宅	ストーブ	1	17	1	2	1	1	4,277
S54	6月2日	宝林町	住 宅	たばこ	1	86	1	4	3		4,249
	6月11日	駒場町	冷凍工場	不明	1	660				1	375,353
S55	4月8日	穂 香	納屋付住宅	ストーブ	1	130	1	4	1	1	7,505
	6月21日	光和町	住 宅	ローソク	1	43	1	5	1		5,993
	9月14日	明治町	そ の 他	放 火					1		
S56	2月17日	落石西	冷凍工場	不明	1	1,257					147,324
	2月19日	汐見町	長屋式住宅	ストーブ	1	21	1	1	1		921
	5月9日	花咲港	船 舶	不明					7	1	2,687
	12月6日	緑 町	店舗併用住宅	不明	1	63	1	2	1		4,423
S57	11月19日	西浜町	作業場付冷蔵庫	不明	1	373					205,805
	12月19日	松ヶ枝町	住宅付貸店舗	放 火	4	1,688	3	11	1	3	458,595
S58	4月27日	緑 町	店 舗	たばこ	1	30			1		979
	8月17日	緑 町	店 舗	不明	1	680				1	122,508
S59	1月18日	齒 舞	造 船 所	不明	1	136			2	1	6,548
S62	1月19日	花咲港	住 宅	不明	1	73	1	2	1		3,136
H2	2月27日	光洋町	住 宅	ストーブ	1	42	1	4	2		1,770
H3	12月16日	汐見町	空 家	不明	8	3,234	1	1			72,985
H5	4月6日	納沙布	自家用軽自動車	放 火					1		75
	12月6日	梅ヶ枝町	住宅付遊戯場	不明	1	750	2	3			159,447
H6	1月7日	初田牛	住 宅	不明	1	111	1	1	1		3,454
	1月10日	牧 の 内	乗用自動車	放 火					1		120
	8月17日	平内町	住 宅	放 火	1	99	2	2	1		1,520

年 別	出火月日	出火場所	用 途	出火原因	焼 損 棟 数	焼 損 面 積	り 災 世 帯 数	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	損 害 見 積 額 (千円)
H6	10月16日	幸 町	共 同 住 宅	不 明	1	12	1	1	1		1,104
H7	8月1日	齒 舞	住 宅	不 明	1	182	1	6	2	1	5,705
H8	11月8日	齒 舞	住 宅	不 明	1	149	1	6	1		4,354
H9	1月26日	明 治 町	そ の 他	放 火					1		
H10	5月28日	駒 場 町	長 屋 住 宅	不 明	1	8	1	1	1		247
H11	10月1日	明 郷	乗 用 自 動 車	放 火					1		140
H13	9月21日	落 石 沖	船 舶	電 灯 電 話 等 配 線					2	3	5,080
H14	8月19日	花 咲 港 沖	船 舶	そ の 他							100,320
	10月27日	昭 和 町	住 宅	不 明	2	104	3	7	1	2	2,193
H15	2月28日	幸 町	住 宅	不 明	1	45	1	1	1		1,475
	5月15日	花 咲 港	船 舶	電 気 装 置					1	2	500
	6月4日	牧 の 内	住 宅	放 火	3	152	1	2	1	1	2,464
	7月12日	納 沙 布	貨 物 自 動 車	放 火					1		55
H17	4月25日	有 磯 町	そ の 他	放 火					1		
H18	12月3日	幸 町	共 同 住 宅	ス ト ー ブ	1	57	2	5	1		6,876
H22	5月28日	西 浜 町	住 宅	不 明	1	58	1	1	1		1,158
H24	7月23日	花 咲 港	工 場 兼 倉 庫	放 火	1	3525				1	383,252
H31	4月8日	昆 布 盛	工 作 物	そ の 他							225,225
R4	1月15日	長 節	乗 用 自 動 車	た ば こ					1		266
R6	7月24日	西 浜 町	住 宅	ス ト ー ブ	4	164	1	2	1	2	3,603
	11月9日	昭 和 町	共 同 住 宅	こ ん ろ	1	1	1	1	1		2
合 計 ( 昭 和 )					104	30,257	55	293	63	47	2,691,614
合 計 ( 平 成 )					25	8,528	19	41	23	10	979,519
合 計 ( 令 和 )					5	165	2	3	3	2	3,871
合 計					134	38,950	76	337	89	59	3,675,004

備 考 (本記録の計上方法)

1 死者が発生した火災

2 焼損面積 昭和32年8月1日から昭和52年まで 1,000㎡以上 昭和53年以降 3,000㎡以上

3 損害見積額 昭和46年以前 10,000千円以上 昭和47年から昭和52年まで 50,000千円以上

昭和53年以降 100,000千円以上

# 年別火災等発生状況(市制施行後)

区分 年別	火災件数									死 傷 者 者	負 傷 者 者	焼損面積			損 害 額  (千円)	
	建物				林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発			合 計	建物(m <sup>2</sup> )			林 野 (a)
	全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や									床面積	表面積		
					者	者										
S32	5		4		1	1	2	1		14		1	2,325		694	26,444
S33	3		14		1	1	4	5		28	2	1	424		1,983	7,043
S34	7	3	11		3	4	8	1		37		5	1,225		400	19,340
S35	3	3	15		1	2	7	1		32		6	3,213		5	48,901
S36	6	4	15			1	5			31	1	2	2,691			90,238
S37	4	3	11		2	3	3	18		44	2	4	1,510		6,001	18,336
S38	4	2	18		4	2	4	18		52			1,724		550	17,441
S39	2	2	28		3	2	3	9		49	1	6	310		31	3,885
S40	9	1	28		8	1	4	1		52	1	2	3,204		566	74,976
S41	13	2	37		6	2	9	5		74	4	3	2,237		315	34,466
S42	22	11	26		10		4	3		76	1	20	10,403		2,023	180,767
S43	12	5	14		5	1	7			44		9	1,625		3,040	116,028
S44	6	2	29		7	1	12	4		61	2	3	418		1,333	10,792
S45	8	1	23		18	3	8	3		64	1	4	1,056		34,220	27,035
S46	13	4	21		10	2	7	3		60	4	9	4,429		463	126,152
S47	11	5	14		7	2	7	3		49	4	3	2,658		482	354,536
S48	4	5	11		16		5	13		54	2	2	437		1,970	34,645
S49	9	7	17		16	2	11	9		71	5	8	2,262		1,835	101,655
S50	8	5	19		5	2	4	6		49		6	2,083		303	182,092
S51	8	6	12		7	6	2	5		46		3	1,364		1,388	66,098
S52	11	4	23		6	3	4	4		55	5	6	2,517		283	528,250
S53	11	7	12		3	1	6	2		42		6	1,831		45	132,545
S54	5	7	6		2	2	2	1		25	3	1	1,519		510	407,565
S55	8	3	6		2		1	1		21	3	3	1,481		125	51,695
S56	8	7	13				5			33	9	7	3,309			260,308
S57	4	6	5		5	3	1			24	1	8	2,670		1,137	718,064
S58	3	4	6		6		6	2		27	1	8	1,046		2,032	218,907
S59	4	3	11		2	1	2			23	2	4	2,111		145	118,294
S60	3	3	3		2	1	2			14			593		108	19,987
S61	5	3	3			2	1			14		2	726			43,229
S62	8	7	6			5	1			27	1	8	1,623			140,733
S63	3	3	4			3	1			14		1	216			32,631
H 1	4	3	2		3	2	2			16		2	1,210		582	85,387
H 2	7	2	3				1		1	14	2	6	768			82,936
H 3	3	1	3		1		1			9			3,563		460	113,191
H 4	6	2	8		2		1	1		20		5	1,582		16	116,900
H 5	6	3	5		4	2	2			22	1	2	2,148		1,151	273,945

区分 年別	火災件数										死 者	負 傷 者	焼損面積			損 害 額  (千円)
	建物				林 野	車 両	船 舶	そ の 他	爆 発	合 計			建物(m <sup>2</sup> )		林 野 (a)	
	全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や									床面積	表面積		
H 6	5	1	11			1				18	4	3	714			29,088
H 7	6	3	4	1	2	1	1			18	2	5	1,154	107	471	75,203
H 8	2		6	1		2	1	1		13	1	1	476	8		70,805
H 9	5	1		4	3	2		4		19	1	2	679	36	116	46,237
H10	3	2	3	4	1	1	3	2		19	1	3	437	3	100	60,331
H11	3	1	2	2	1	3	2	2		16	1	1	1,172	10	15	55,966
H12	1	1	5	1	1	2	3			14		2	608	81	304	53,925
H13	1		3	2	2	2	2			12	2	5	126	53	689	47,686
H14	3	2	2		2	4	1	2		16	1	3	461	326	362	155,860
H15	7	2	4	6		4	3			26	4	10	927	64		67,541
H16	5	1	2	1	1	5	1	1		17		4	300	6	300	16,285
H17	2	1	2		1	3	1	1		11	1	2	331	66	19	28,169
H18	1	1	4	2	1	5	2			16	1	1	304	28	6	32,797
H19	2	1	1	1	1	3	3			12			293	21	6	34,399
H20	5		1	2	1	2	1	4		16		5	704	79	15	34,437
H21	1	1	5	4		4	2	3		20		5	215	33		26,080
H22	4	2	1	5		1		1		14	1	9	802	32		51,186
H23	2	2	2	4		1	2	1		14		2	140	6		35,520
H24	3		2			3	1			9		3	4,106			447,979
H25	2		1	6		1	1	1		12		1	260	2		44,928
H26	3		1	3		2	1			10		2	739	7		42,202
H27	1	1	1	9		4				16		1	258	1		19,591
H28		2	3	1	1	2				9			664		380	54,274
H29	1	1	2	3		2				9		1	83			9,397
H30	2	2	1	3				1		9		1	508	6		14,625
R 1	4			2		1	1	3		11			225	3		235,843
R 2	2		1		2	5	1	1		12			355		67	29,232
R 3	2		1		1	4		2		10			347		25	26,724
R 4	1			1		1		1		4	1		1,228			20,996
R 5	3		1							4			884			23,918
R 6	3	1	2	3		1		1		11	2	5	782	3	1	13,052
R 7				1	1	1	1			4		1			32	52

備考 建物火災のうち「ほや」については平成7年から計上

火災発生状況（最多）

(1) 火災件数

- 1位 昭和42年（76件）  
2位 昭和41年（74件）

(2) 建物火災件数

- 1位 昭和42年（59件）  
2位 昭和41年（52件）

(3) 損害額

- 1位 昭和57年（718,064千円）  
2位 昭和52年（528,250千円）

(4) 死者数

- 1位 昭和56年（9名）  
2位 昭和49・52年（5名）

(5) 負傷者数

- 1位 昭和42年（20名）  
2位 平成15年（10名）

火災発生状況（最少）

(1) 火災件数

- 1位 令和4・5・7年（4件）  
2位 平成3・24・28・29・30年（9件）

(2) 建物火災件数

- 1位 令和7年（1件）  
2位 令和4年（2件）

(3) 損害額

- 1位 令和7年（52千円）  
2位 昭和39年（3,885千円）

# 過去10年間の救助出動件数及び活動件数

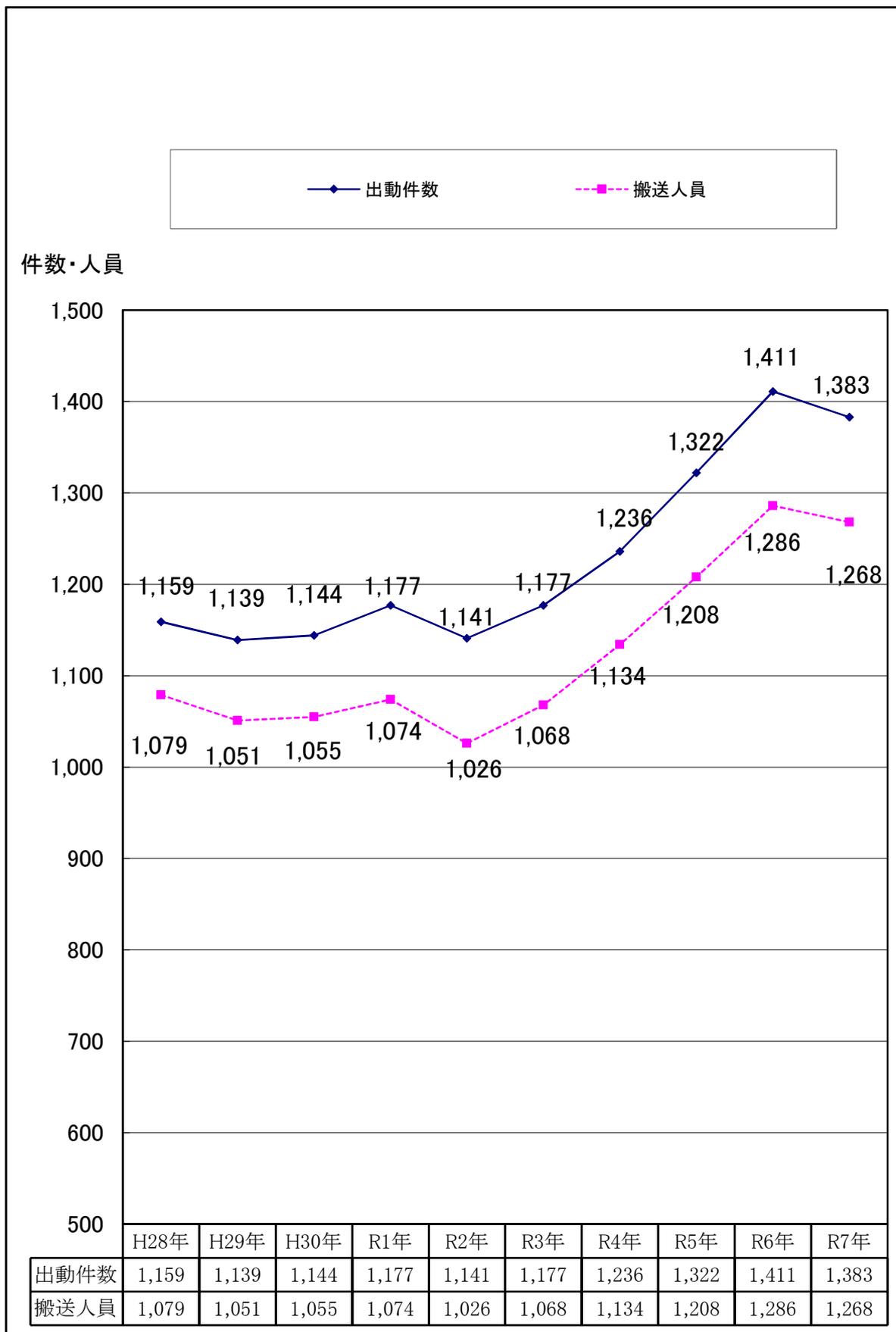
平成28年1月1日～令和7年12月31日

区 分  年 別	出動件数	事 故 種 別									
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	機 械 事 故	建 物 事 故	ガ ス 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
	建 物	建 物 以 外									
H28	13			11							2
	8			6							2
H29	10			3	2		2	1	1		1
	5			1			1	1	1		1
H30	12			6	1		2	1			2
	8			4	1			1			2
R1	8			4	1		1				2
	5			3	1						1
R2	13			9	1						3
	4			3							1
R3	8			2	3		1				2
	4			1	3						
R4	3			2	1						
	1			1							
R5	10			6	2				1		1
	5			2	2				1		
R6	14	2		6	2		1				3
	6	2		2	1						1
R7	7			5							2
	2			2							
合計	98	2		54	13		7	2	2		18
	48	2		25	8		1	2	2		8

# 過去10年間の救急出動状況

区分 年別	出動件数	種 別											搬送人員	不搬送人員	死亡	拒否	その他
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他					
	搬送件数																
H28	1,159	7		1	52	21	3	117	6	7	768	177	1,079	89	23	12	54
	1,070			42	21	3	115	6	6	728	149						
H29	1,139	6		7	44	26	2	136	2	7	730	179	1,051	95	33	12	50
	1,044	1		5	40	26	2	128	1	3	680	158					
H30	1,144	8		1	52	12	2	141	2	8	731	187	1,055	98	26	33	39
	1,046	1		1	45	11	2	134	2	4	681	165					
R 1	1,177	5		2	32	12		139		11	783	193	1,074	105	28	29	48
	1,072			1	29	12		126		8	721	175					
R 2	1,141	4			54	13	1	153	1	9	757	149	1,026	118	33	9	76
	1,023				39	13	1	144	1	6	691	128					
R 3	1,177	2		4	32	11	1	158	4	9	823	133	1,068	112	35	10	67
	1,065			1	20	11	1	146	4	4	755	123					
R 4	1,236	1		2	32	10	1	140	2	18	894	136	1,134	106	41	6	59
	1,130	1		2	23	9	1	135	2	14	822	121					
R5	1,322	3		1	34	19	5	149	5	12	954	140	1,208	117	42	9	66
	1,205			1	31	19	5	140	4	9	874	122					
R6	1,411	10		1	52	18	2	143	4	8	1,000	173	1,286	130	39	10	81
	1,281	4		1	45	17	2	131	1	4	930	146					
R7	1,383	1			37	32	5	138	1	9	980	180	1,268	116	44	4	68
	1,267	1			31	32	5	129	1	7	903	158					
合計	12,289	47		19	421	174	22	1,414	27	98	8,420	1,647	11,249	1,086	344	134	608
	11,203	8		12	345	171	22	1,328	22	65	7,785	1,445					

# 過去10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移



# 『自然災害や消防・防災 に関することなど』



消防・災害  
相談ダイヤル  
24-0119

(電話相談を24時間受け付けています。)